

環境活動レポート

2016年版

〈2015年3月1日～2016年2月29日〉



来ハトメ工業株式会社



®環境省

エコアクション21

認証番号0005644

2016年7月7日発行

1. はじめに	-----	2
2. 会社概要	-----	3
1) 登録事業者の概要		
2) 当社主力製品並びに主要取引先		
3) 沿革(当社70年のあゆみ)		
4) 設備概要並びに従業員紹介		
3. 環境マネジメントシステム	-----	10
1) EA21環境経営組織図		
2) 役割責任及び権限		
3) 2015年度の変更点		
4. 環境方針	-----	11
5. 環境目標と環境活動計画	-----	12
1) 過去5年間の環境負荷の実績と中期環境計画		
2) 2015年度環境活動計画		
6. 環境関連法規	-----	20
1) 法規制の遵守状況のチェック結果		
2) 違反・訴訟の有無		
7. 緊急事態の想定	-----	22
1) 想定される緊急事態		
2) 緊急事態の対応及び訓練状況		
8. 教育訓練計画	-----	23
1) 環境教育・訓練の概要		
2) 主な環境教育・訓練の取組事例		
9. 環境目標の達成状況と環境活動計画の実施状況	-----	27
1) 主な環境負荷の実績と達成状況		
2) これが、2015年度当社環境活動の全貌だ!		
3) 2015年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容		
4) CO2排出量で見る2015年度環境活動の成果と今後の課題		
10. 代表者による見直し結果	-----	42
1) 代表者レビュー		
2) 2016年度以降の目標		

来ハトメ工業環境トピックス 目次

1. 受賞ラッシュ 再び～2年連続W受賞を達成～	-----	4
2. 新洗浄機がもたらしたもの～究極の「エコ替え」となった洗浄機更新～	-----	7
3. 「重油」のない環境活動計画～重油不使用元年～	-----	16
4. 環境活動で、人が育った!～環境活動により自らの成長を手にした成功事例集①～	-----	18
5. 2年連続受賞は、環境教育大成功の証?～「環境 人づくり企業大賞」挑戦記～	-----	26
6. 環境活動で、人が育った!～環境活動により自らの成長を手にした成功事例集②～	-----	38
7. 環境活動で、人が育った!～環境活動により自らの成長を手にした成功事例集③～	-----	40

目的と目標と達成方法 ～COP21に関連して～

「EA21やって会社にいいことあるの？」

友人に聞かれたことがある。

当社は、平成22年9月にEA21の認証を取得してから

平成24年 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門 奨励賞

平成25年 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門 大賞(環境大臣賞)

平成27年 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門 優良賞

第16回彩の国埼玉環境大賞 優秀賞

「環境 人づくり企業大賞2014」 環境大臣賞

平成28年 第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門 優秀賞

「環境 人づくり企業大賞2015」 優秀賞

と、立て続けに大きな賞を受けることができ、出来過ぎのような気がしている。

一方、会社の状況は、低空飛行を続けたまま、一向に浮上する気配がない。

環境ばかりに一生懸命で、肝心の商売は何年も目の見ない会社に対して、周囲から白い目で見られているような気がする。

しかし、悪いことを一生懸命やっている訳ではなく、大げさに言えば、世のため、地球のために一生懸命なのだから、悪い方向に進んでいるとは思わない。

いずれは環境活動が肥料になり、努力が好運の芽を出し、会社も良い方向に行くと思っている。

何かに一生懸命に取り組むということは、結局、何事にも懸命に取り組むことになり、全体として一定以上の成果を得られるということは、長年の経験で分かっていることだから。

昨年12月のCOP21についても、同様のことが言えると思う。

世界196の国と地域が全て、温室効果ガス削減を約束するという、大変意義深いものになったのは言うまでもないが、殊に日本の約束草案に目を向けてみると、「温室効果ガス排出量2030年までに2013年比26%削減」という、何とも大胆な目標を掲げている。

幸い、当社においては、昨年実施した洗浄機更新の恩恵で早々に約束草案の達成を実現できたものの、日本全体としては、個人的には、実現困難だと思う。

全ての国は、国内事情が違い、ほかの国との関係も千差万別だから、同一目標に向けて、全ての国が全力で努力するなんて、あり得ないと思う。

でも、それでいいのだと思う。

「地球環境の保全」という、大きな目的に向かって、それぞれの国が、それぞれの方法で前進すればいいので、その前進の方向及び到達点が目標なのだから。

従って、方向が正しければ、到達点は低くても、少しずつ高くしていけば、いつかは最終的な目標、すなわち、目的に到達できるのだと思う。

翻って、会社のことを考えてみる。

我社は、我社の速度、方法で、環境にも商売にも懸命に努力すれば、両方面でいつかは大輪の花を咲かせることができるのだと思う。

来ハトメ工業株式会社
取締役会長(EA21代表者) 来 満

2.会社概要

1) 登録事業者の概要

(1) 事業者及び代表者名

事業者名：来ハトメ工業株式会社
代表者名：取締役会長 来 満

(2) 所在地(本社・工場共下記住所になります)

〒340-0822埼玉県八潮市大瀬203-1
右「当社アクセスマップ」御参照下さい。
URL <http://www.rai-hatome.co.jp>
同所に無人の駐車場と材料倉庫もございます

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名：環境管理責任者 石原 隆雅
連絡先：TEL 048(995)5138
FAX 048(996)0580
e-mail yashio@rai-hatome.co.jp

(4) 事業内容

金属材料を使用する容器、ケース、ガイドの製造

(5) 創業年月日

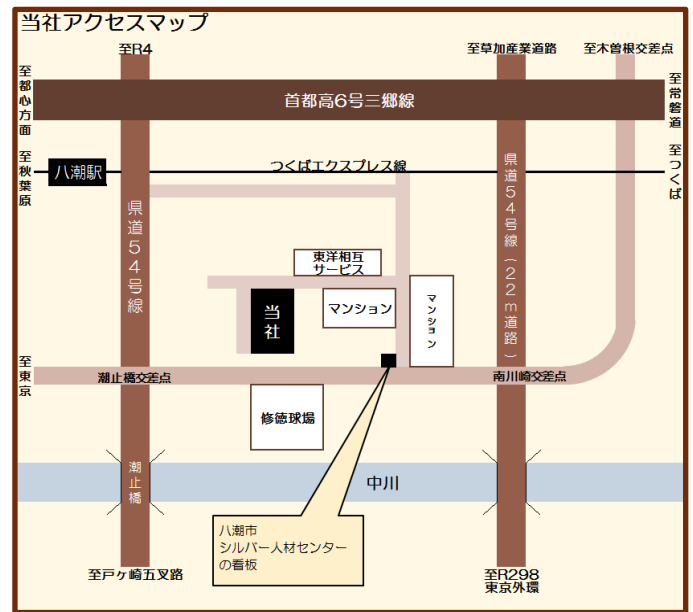
1946(昭和21)年3月6日

(6) 資本金

¥30,000,000

(7) 事業規模

項目	単位	年 度								
		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
主要製品生産高	百万個	3,102	2,425	2,677	1,902	1,669	1,626	1,663	1,776	
売上高	百万円	959	719	833	590	544	519	541	595	
従業員数	人	38	41	43	41	41	40	38	37	
事業所延床面積	m ²	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	
事業所敷地面積	m ²	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	



2) 当社主力製品並びに主要取引先

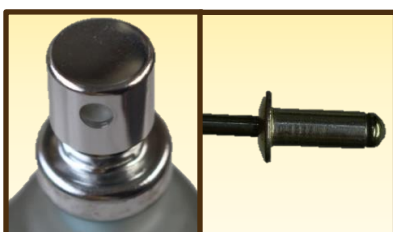
(1) アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



電子基板の上で、独特な存在感を放つアルミ電解コンデンサ。その骨格を担うアルミケースこそ、当社の主力製品。伝統の「深絞り加工技術」を駆使し、少量多品種、さらに低コスト化を実現し、市場のニーズにお応えし続けます。

主要御取引先：日本ケミコン株式会社様 他

(2) 香水プッシュ・ネジ部分(写真左)、建築金物(写真右)(売上構成比1%)



アルミ深絞り加工の応用製品は、様々なフィールドで絶賛大活躍中!!

主要御取引先：和光金属株式会社様(香水プッシュ・ネジ部分)
カネダ株式会社様(建築金物)
上記御取引先様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入致しております。

2.会社概要

3) 沿革(当社70年のあゆみ)

1946

～1969 草創期(ハトメ、時計バンド等の仕入販売からスタート)



社屋前にて(昭和23年頃)

- 1946 . 3 東京都荒川区三河島にて「來商店」創業
- 1952 . 7 「有限会社來商店」と改組
- 1952 . 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953 . 10 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置
- 1956 . 6 東京都台東区入谷に移転
- 1962 . 12 「有限会社来ハトメ店」と改称

1969

～1974 金町工場設立(念願のメーカーとしての第一歩)

- 1966 . 3 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
- 1971 . 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974

～1998 八潮工場設立(金属部品メーカーとして大きく発展)



作業風景(1980年代)

- 1974 . 4 来ハトメ工業株式会社と改組。資本金¥10,000,000
- 1975 . 3 増資。資本金¥25,000,000に
- 1990 . 3 本社機能を全て八潮工場へ移管
- 1996 . 3 増資。資本金¥35,000,000に

1998

～2010 アルミ材料専門製造・加工メーカーへとシフト、品質・環境認証取得

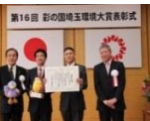
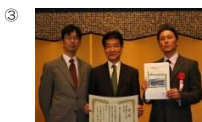


炭化水素洗浄機(2006年)

- 1998 . 3 鉄、真鍮から撤退し、アルミ材料専門メーカーとなる
- 2004 . 1 業界初の炭化水素洗浄設備を導入
- 2005 . 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007 . 7 年間売上高10億円を達成
- 2010 . 9 エコアクション21認証取得(認証・登録番号0005644)

2012

～2015 環境関連各賞を相次ぎ受賞!環境先進企業へと大転身!!



授賞式の風景
(写真横の数字は年表中
①～⑤にそれぞれ対応)

- 2012 . 2 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞(①)
- 2013 . 3 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門大賞受賞(②)
- 2013 . 6 『平成25年版環境白書』(環境省編)にて当社活動事例紹介される
- 2014 . 10 『日経エコロジー』(日経BP社)にて当社活動事例紹介される
- 2015 . 2 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞受賞(③)
- 2015 . 3 第16回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞(④)
- 2015 . 8 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞(環境大臣賞)受賞(⑤)
- 2015 . 12 『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社)にて当社の事例紹介される

来ハトメ環境トピックス2015

1. 受賞ラッシュ 再び ～2年連続W受賞を達成!!～

「2016年も、まぐれ再び!!」。2月に「第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門」の「優秀賞」を、更に5月には第2回「環境 人づくり企業大賞2015」にて「優秀賞」を受賞。2年連続で両賞の「W受賞」を達成致しました。

もちろん、賞だけが全てではございませんが、一人ひとりの努力がこうした形で実を結ぶということは、日々の行動に対する「自信」となることは言うまでもございません。こうした身に余る評価を「評価以上の大きな責任」に変え、今後共社員一同、更なる高みを目指し、取り組んで参ります。



4) 設備概要並びに従業員紹介

(1) 電子基板を覗けば、そこに我々の努力の跡が ～アルミケース製造ライン～

我々の日常生活に、もはや欠かせない存在と言える電化製品や自動車。これらを制御する電子基板には実はひっそりと、我々の努力の跡が隠れていることを、皆様は御存じでしょうか。

電子基板の中で、独特な存在感を放つ「アルミ電解コンデンサ」。その骨格を担うアルミケースこそ、実は当社の主力製品!なのです。

もし電子基板を御覧になる機会がございましたら、下記5名の努力の結晶たるアルミ電解コンデンサに目を向けてみてください。彼ら、とっても喜ぶと思いますよ。

i) 配置図と各設備の名称

色記号	設備名称(メーカー・型番)
緑	5号プレス(127台)
オレンジ	4号プレス(16台)
黄緑	エアークリーナー(岩崎エアテック・AT-7000)
黄	溶接機(東洋変圧器・TK-150)
青	切断機(マキタ・2412N)
紫	卓上電動研磨機(富士電機・BG-1)
水色	油圧式金切鋸盤(村橋製作所製)
黒	汎用旋盤(滝澤鉄工所・TSL-550D)
黒線	スクラップ用コンベア
青線	給水系統
赤線	排水系統

Point in Check

143台のプレスが整然と並び製造ライン。

その生産能力は、コンデンサ用アルミケース換算で実に1,000万個/日!!



3台の汎用旋盤が鎮座するプレス横のスペース。

こうした工作機械を駆使した金型からの一貫生産を実現しているのも、当社の強み。

ii) アルミケース製造ライン従業員紹介

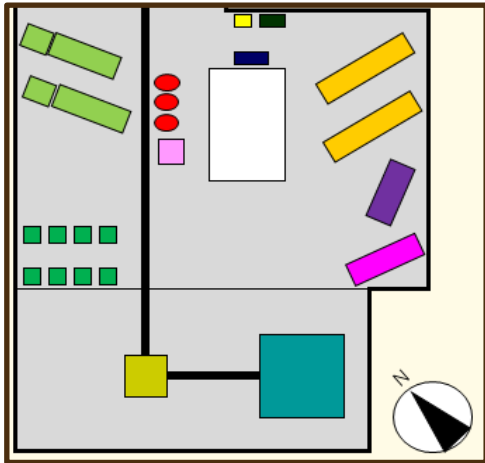
① 加茂 隆弘	① 加藤 直	① 田辺 栄一
② 10年目 ③ —	② 10年目 ③ —	② 10年目 ③ —
④ 廃棄物(事業系一般廃棄物)	④ 廃棄物(廃アルミ)	④ CO2(電力)
① セノ リト アンジェロ	① 越川 達也	
② 4年目 ③ —	② 2年目 ③ —	
④ 廃棄物(産廃(廃ウエス))	④ CO2(電力)、廃棄物(分別)	
		① 氏名
		② 勤続年数 ③ 社内役職
		④ EA21担当項目

2.会社概要

(2) 製品に魂込める匠達 ～工作室(金型製造・修理)～

金型は、プレス加工の命。だからこそ、そこには最大限に魂を注ぎ込みたい!!
 こうした考えから、当社では、金型からの自社一貫生産にこだわり続けております。
 今日も、6人の匠達が、当社の製品に魂を注ぎ込み続けております。

i) 配置図と各設備の名称

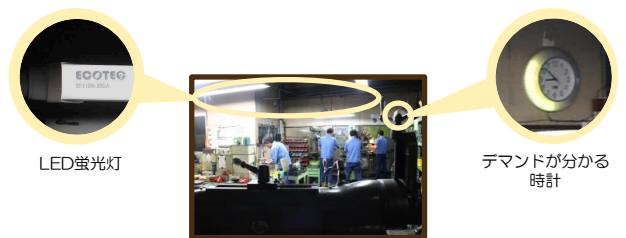


色記号	設備名称(メーカー・型番)
緑	平面研削盤(日興機械・NFG-515)
黄緑	5号プレス(8台)
赤	卓上ボール盤(遠州工業、日立工機製)
紫	コンターマシン(日本工機・L-300)
黄	電気ドリル(日立工機・DG-5)
黒	卓上自動面取器(日本オートマチックマシン製)
青	卓上グラインダー(日立工機・GT-13)
黄緑	セイパー(長岡工機・NS-580)
紫	フライス盤(牧野フライス・KSJ型)
黄	フライス盤(静岡鐵工所・VHR-A型)
青	遠心脱油機(広瀬脱水機・AR-66型)
黄	アルミスクラップ集積所
黒	スクラップ運搬用コンベア

Point in Check ☞ これが、当社自慢の「エコ工作室」だ! その裏側を大公開!!

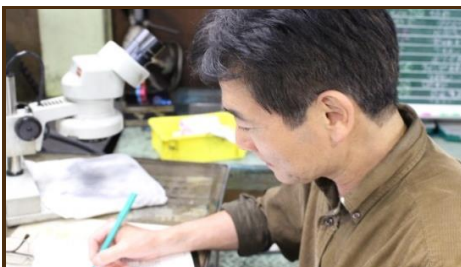


一見、古い町工場の作業場風情の写真。しかし、この中にはいくつかの「エコ設備」が隠れていたりします。
 どこに、エコな部分が隠れているか、お分かりになりましたか?



答えは、上の通り。
 環境活動に励むこと7年、見事「エコ工作室」へと生まれ変わったとある町工場の1コマでした。

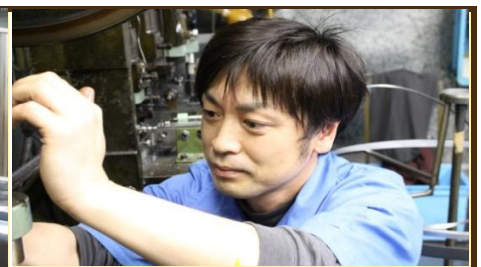
ii) 工作室(金型製造・修理)従業員紹介



① 来 昌伸
 ② 38年目 ③ 代表取締役社長
 ④ 地域貢献他



① 有山 浩一郎
 ② 32年目 ③ 取締役工場長
 ④ 廃棄物(紙くず)



① 井出 学
 ② 19年目 ③ 副工場長
 ④ 廃アルミ(材料歩留り)



① 山崎 洋幸
 ② 19年目 ③ 主任
 ④ CO2(LPG)



① 宮本 哲次
 ② 10年目 ③ -
 ④ 水、有害化学物質



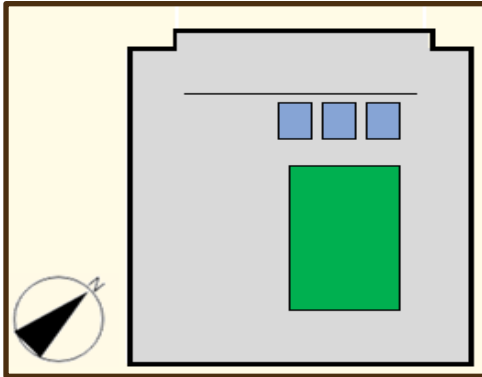
① 来 尊重
 ② 7年目 ③ -
 ④ CO2(ガソリン)他

(3) 単なる作業のその先をめざして ～洗浄室～

当社洗浄工程では「ただ単に製品に付着した油を取り除く」という作業とは一線を画した、「お客様毎の好みの洗浄条件にて製品を仕上げる」という難題解決を究極の目標とし、日々作業に取り組んでおります。

当社において、こうした難題に果敢に立ち向かい続けているのが、2名の洗浄スペシャリスト達。今日も、終わりのない追究の最先端で、彼らは戦い続けているのです。

i) 配置図と各設備の名称



色記号	設備名称(メーカー・型番)
■	洗浄機 (クリンビーFVH3-4085V2RCVS)
■	遠心分離機(広瀬脱水機製)

ii) 洗浄室従業員紹介

① 来 淳一郎	① 齊藤 進
② 18年目 ③ 営業課長	② 11年目 ③ -
④ EA21製造部門責任者、化学物質等	④ 化学物質(炭化水素)

来ハトメ環境トピックス2015

2. 新洗浄機がもたらしたもの ～究極の「エコ替え」となった洗浄機更新～

従来の洗浄機の老朽化に伴い、洗浄機の更新を行ったのが、2014年3月。同年8月までは新旧両洗浄機が併存していたため、2015年度が新洗浄機の更新によりもたらされた変化を完全に把握することができる初年度となりました。

その結果、洗浄機更新が、「当社創業以来最大のエコ替え」となったことが判明!!致しました。具体的には(文末の頁数は当環境活動レポートの関連頁)、

- ① 熱源が重油から電力に変更となったことで、2013年度(旧洗浄機が通年稼働した最終年度)に年間55,700ℓ (CO₂排出量換算約150 t)使用していた重油の使用量がゼロに。
これが、当社全体のCO₂排出量の削減に大きく貢献し、その削減量は、2013年度比△80.1t(率にして26.4%。COP21の日本の約束草案(2030年までに2013年度比26%削減)を上回る削減を実現し、約束草案の早期達成に大きく貢献)(27、39頁)。
- ② 新洗浄機は冷却装置としてチラーを使用するため、従来機にて使用していたクーリングタワーが不要に。騒音規制法上の特定施設に該当するクーリングタワーの廃止により、法規制上の負担が軽減されただけでなく、水使用量の大幅(約64%)削減も同時に実現(34頁)。
- ③ 「洗浄剤として使用する炭化水素使用量は従来機の半分」というメーカーの謳い文句通り、いや、それ以上(約67%)の削減を実現!(35頁)。

今回の洗浄機更新は、環境活動上の結果向上に一役買ったのは然ることながら、社内で現在当たり前の様に使用している機器の中から「第2の洗浄機」を探してやろう!という新たな挑戦への意欲を社内にもたらした、大変意義深いものとなりました。

2.会社概要

(4) 多彩な業務を一手にこなす「スペシャリスト集団」 ～2F管理部門～

管理部門。当社のそれは、検査に始まり、営業、出荷、更に環境活動の事務局…といった具合に、その言葉の意味を超える、実に多彩な業務をこなしているのが大きな特徴。

一人一人が、自身の得意分野を生かしながら、「御得意先様の満足をもって、我社の満足とする」という品質目標を体現すべく、日々努力を重ねております。

Point in Check ☞ 工作室のさらに上!こちらもかなりの「エコ作業場」!!



こちら、6ページの工作室と負けず劣らずの町工場の作業風景といったところですが、実は、こちら、とんでもない「エコ作業場」となっているんです。この写真に潜んでいるエコな部分、どこかお分かりになりましたか？



答えは、上の通り。これからも、新たな工夫、研究を重ね、「最強のエコ作業場」目指し、進化させて参る所存です。

管理部門従業員紹介

		
① 来 満	① 佐々木 勝	① 石原 隆雅
② 46年目 ③ 取締役会長	② 23年目 ③ 管理課長	② 11年目 ③ 主任
④ EA21代表者、継続的改善	④ EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)	④ EA21環境管理責任者、法規制他
		
① 来 博行	① 福田 則子	① 大西 百合子
② 4年目 ③ -	② 25年目 ③ 主任	② 10年目 ③ 主任
④ eco検定講師	④ グリーン調達	④ CO2(電力)、廃棄物(分別)
		
① 岡本 恵子	① 山田 亜由美	① 安田 ジョセフィーナ
② 17年目 ③ -	② 17年目 ③ -	② 17年目 ③ -
④ CO2(電力)、廃棄物(分別)	④ CO2(電力)、廃棄物(分別)	④ CO2(電力)、廃棄物(分別)

2.会社概要



① 三輪 千鶴
② 14年目 ③ -
④ CO₂(灯油)、廃棄物(分別)



① 稲葉 エリザベス
② 13年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 竹田 アデライダ
② 12年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 山本 マリア
② 12年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 大小堀 レオニラ
② 12年目 ③ -
④ 備品コスト意識改善他



① 田中 ジェバチキ
② 10年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① メンドーサ カリーナ アンジェリカ セノ
② 10年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 坂本 ルシール
② 9年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 奥山 レアグレース
② 9年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 大塚 アデリーナ
② 9年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 深井 美樹
② 7年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 遠藤 フレンシシタ
② 6年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



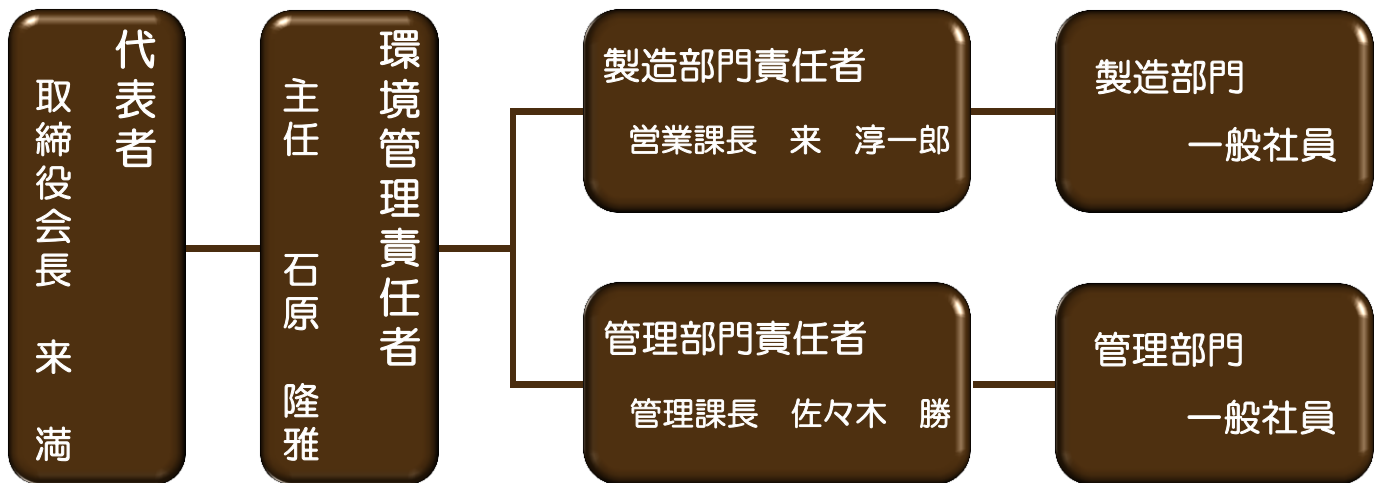
① 越川 順子
② 6年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)



① 梅藤 美智子
② 5年目 ③ -
④ CO₂(電力)、廃棄物(分別)

3.環境マネジメントシステム

1) EA21環境経営組織図



2) 役割責任及び権限

役割(職位)	責任 及び 権限
代表者	1. 環境方針の制定、誓約及び従業員への周知 2. 環境管理責任者の任命 3. 環境経営資源の確保 4. 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5. 全体の取り組み状況の評価と見直し、並びに指示
環境管理責任者	1. エコアクション21活動全般の施策・運用 2. エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3. 各種環境関連文書の記録の管理 4. 環境関連法規の遵守に関する教育 5. 環境活動レポートの作成、公表
製造(管理)部門責任者	1. 環境目標に即した自部門の環境活動計画の策定・実施 2. 自部門の環境活動計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 自部門の一般社員に対する環境教育の実施
(各部門)一般社員	1. 各担当項目の施策案策定及び施策の実施 2. 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3. 担当項目以外の環境保全活動への協力 4. 環境関連法規の関する知識習得及びその遵守 5. 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6. 各家庭における環境教育の実施

3) 2015年度の変更点

2015年度は、環境経営組織図、役割責任及び権限に対する変更は行っておりません。

4.環境方針

当社は金属製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえて、次の行動指針を定めます。

- 1 . 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取り組みを行います。
 - ① 製造工程、管理工程における二酸化炭素排出量の削減
 - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 製造工程における材料歩留まりの向上
 - ⑤ グリーン調達推進
 - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減
- 2 . エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図ります。
- 3 . 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 . 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 . 生物多様性に関する社員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 . ボランティア活動等を通じ、地域貢献に取り組みます。
- 7 . 5Sを徹底し、社内美化に努めると同時に、事業活動内に潜むムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 . 環境方針等、必要な情報を開示します。

2014年3月3日改訂

来ハトメ工業株式会社

取締役会長



5.環境目標と環境活動計画

1) 過去5年間の環境負荷の実績と中期環境計画

(1) 過去5年間の環境負荷の実績(実績数字中の赤太字：基準年度)

項目・単位	年度	2010	2011	2012	2013	2014	
二酸化炭素 排出量	CO2排出量※1	kg-CO2	428,929	340,345	329,319	326,337	270,492
	電力※6	kWh	509,504	393,776	376,618	374,437	523,004
	重油※2	ℓ	74,600	58,400	57,700	55,700	12,500
	LPG	kg	717	577	619	528	465
	ガソリン	ℓ	3,447	3,152	3,084	3,305	3,250
廃棄物 排出量	灯油	ℓ	1,480	1,010	1,221	1,773	1,482
	事業系一般	kg	5,770	3,605	2,705	1,700	1,795
	産廃(廃ウエス)※3	kg	—	—	1,200	1,800	1,800
	紙(リサイクル量)	kg	1,990	2,120	1,910	1,540	1,930
水使用量	廃アルミ(有価物)	kg	294,600	224,850	205,390	215,130	218,161
	上水※6	m ³	1,281	1,257	1,140	1,061	571
化学物質 使用量	炭化水素※4,※6	ℓ	176,250	84,350	59,250	38,400	24,000
	潤滑油※5	ℓ	28,018	21,500	24,000	26,000	22,000
グリーン調達率※7	%	57.12	65.01	71.13	75.18	80.42	

- ※1 二酸化炭素の実排出係数は平成20年度東京電力(株)の実排出係数(0.418kg-CO₂)を基に算出しております。
- ※2 当社における重油使用は2014年8月をもって終了致しております。
- ※3 産廃(廃ウエス)排出量は2012年度よりデータ取りを開始したため、それ以前のデータはございません。
- ※4 当社にて使用しております炭化水素の物品名は「ソルトーフP-1」(第2石油類 非水溶性)となります。
- ※5 当社にて使用しております潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)となります。
- ※6 2014年度に実施した洗浄機更新に伴い、電力、水、炭化水素の使用量は大幅に変わる可能性があることから、洗浄機更新後の通年データ収集可能な初年度にあたる2015年度を基準年度とすることに致しました。従いまして、上表内に基準年度が存在しない状態になっております。
- ※7 グリーン調達につきましては、基準年度を設定致しておりません。

(2) 中期環境目標

二酸化炭素排出量(目標値：総量(kg-CO₂))

基準年度(2010年度)実績： 428,929kg-CO ₂			
削減目標量	年度	削減目標量(kg-CO ₂)	基準年比
	2015	407,483	5%削減
	2016	403,193	6%削減
	2017	398,904	7%削減
	2018	394,614	8%削減
	2019	390,325	9%削減

洗浄機更新後の数値が出そろった2016年3月以降に、新たな目標設定を行うことと致しますが、ここでは、参考数値と致しまして、2010年度を基準年度とした削減目標量を掲げ致します。

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

2014年3月に重油不使用の洗浄機を導入したことが奏功し、削減の方向に大きく変化致しました。昨年度は、CO₂排出量の基準年度は新洗浄機更新の結果が出そろった2016年度初頭に決定することと致しておりましたが、その決定に当たっては、2015年12月のCOP21において採択されたパリ協定や、その際日本が提出した約束草案(2030年までに2013年比26%削減)を踏まえ、それと整合性の取れた当社としての目標を掲げることと致します。

電力使用量(目標値：※洗浄袋数(調整)原単位(電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)))

基準年度実績：2015年度実績を基準とする。			
削減目標量	年度	削減目標量(kWh)	基準年比
	2015	現状把握	—
	2016	2015年度比1%削減	
	2017	2015年度比2%削減	
	2018	2015年度比3%削減	
	2019	2015年度比4%削減	

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

洗浄機の更新の影響で用量が大幅に増加してしまったのが、この電力。年間を通じての増加の影響が全く読めないことから、2015年度は主にデマンドを指標とした削減活動に努め、2016年度以降は新たな目標値とデマンド目標値の2つを削減のための指標として、地球環境のためだけでなく、会社の利益にも貢献できるような削減活動を展開して参ります。

※洗浄袋数(調整)原単位の概要とその算出方法につきましては、15頁「解説」を御覧ください。

5.環境目標と環境活動計画

LPG使用量(目標値：稼働日原単位(使用量(kg)÷稼働日数(日)))

基準年度(2010年度)実績：		3,01kg/日	
削減目標量	年度	削減目標量(kg/日)	基準年比
削減目標量	2015	2.86	5%削減
	2016	2.83	6%削減
	2017	2.80	7%削減
	2018	2.76	8%削減
	2019	2.74	9%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

当社におけるLPGの使用用途は、湯沸器(手洗い、台所)、フォークリフト燃料、金型焼入れの熱源の3つとなります。
目標達成のポイントは、ズバリ用途毎のLPG使用状況を把握、分析し、問題がある部分の改善を早急に行うこと。これをスピーディーに実行し、毎年達成できるよう、取組を推進して参ります。

ガソリン使用量(目標値：総量(ℓ))

基準年度(2010年度)実績：		3,447ℓ	
削減目標量	年度	削減目標量(ℓ)	基準年比
削減目標量	2015	3,275	5%削減
	2016	3,240	6%削減
	2017	3,205	7%削減
	2018	3,171	8%削減
	2019	3,137	9%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

担当者が毎回工夫を凝らして行っているエコドライブ啓発教育が奏功してか、概ね順調な削減が実現できております。
目下の課題は社用車の老朽化。当然、車両更新という選択肢も近い将来出てくるはずですが、その際には、担当者の努力が実り、エコカーへの更新が実現すれば、目標達成への大きな原動力になるのではないかと考えております。

灯油使用量(目標値：稼働日原単位(使用量(ℓ)÷稼働日数(日)))

基準年度(2010年度)実績：		6.18ℓ/日	
削減目標量	年度	削減目標量(ℓ/日)	基準年比
削減目標量	2015	5.87	5%削減
	2016	5.81	6%削減
	2017	5.75	7%削減
	2018	5.69	8%削減
	2019	5.62	9%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

当社では、暖房機の燃料と金型洗浄用の溶剤として灯油を使用しておりますが、使用量は暖房機の燃料向けが圧倒的に多いのが現状です。
その年の冬季の気温に使用量が左右される部分が大きくはなりますが、担当者の施策と暖房箇所の断熱を組み合わせ、達成に向けた努力を続けて参ります。

事業系一般廃棄物排出量(目標値：総量(kg))

基準年度(2014年度)実績：		1,795kg	
削減目標量	年度	削減目標量(kg)	基準年比
削減目標量	2015	1,771	1%削減
	2016	1,759	2%削減
	2017	1,741	3%削減
	2018	1,723	4%削減
	2019	1,705	5%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

種々の施策が奏功し、当初の基準年(2010年)と実績との乖離が大きくなったことから、今年度より基準年度を2014年度に変更致しました。
とは言え、昨今は処分法の見直しも一巡し、今後の大きな削減は困難を極めそうな状況です。現在の廃棄物の処分法の再度の見直し、きめ細かい啓発教育の実施等を担当者として協力しながら実行し、目標の達成に向けた努力を続けて参ります。

産業廃棄物(廃ウエス)排出量(目標値：総量(kg))

基準年度(2013年度)実績：		1,800kg	
削減目標量	年度	削減目標量(kg)	基準年比
削減目標量	2015	1,764	2%削減
	2016	1,746	3%削減
	2017	1,728	4%削減
	2018	1,710	5%削減
	2019	1,692	6%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

目標未達や、それに伴う是正処置の実施の機会が他のどの項目より多く、現状、最も多くの問題を抱えている部分であると認識致しております。
しかし、昨今、担当者の取組に対する意識の変化が感じられるようになったことから、今後は変わっていくのではと、期待をしている次第です。担当者だけでなく、周囲とも連携しながら、担当者個人の変化を結果に繋げるべく、取組を推進して参ります。

5.環境目標と環境活動計画

紙くずリサイクル量(目標値：リサイクル率(%) (紙くず(kg) ÷ ※ごみ総量(kg) × 100))

基準年度(2010年度)実績： 25.64%			
削減目標量	年度	目標値(%)	基準年比
	2015	30.64	5%削減
	2016	31.64	6%削減
	2017	32.64	7%削減
	2018	33.64	8%削減
	2019	34.64	9%削減

※ ごみ総量： 事業系一般廃棄物(kg)、産業廃棄物(kg)、紙くず(kg)の合計

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

当社社員にとって、紙の分別は最早当たり前のことと言える域に達してはいるものの、ここ数年のリサイクル率はさほど変化が見られないことから、いよいよこの分野における当社の限界値が見えてきたのではと考えております。

今後は、当活動については適正な限界値を見極めた上で、それを楽しみながら維持していくという活動にシフトしていくことになるでしょう。

廃アルミ排出量(目標値：※洗浄袋数(調整)原単位(廃アルミ排出量(kg) ÷ 洗浄袋数(袋)))

基準年度(2010年度)実績： 9.71kg/袋			
削減目標量	年度	目標値(kg/袋)	基準年比
	2015	9.22	5%削減
	2016	9.13	6%削減
	2017	9.03	7%削減
	2018	8.93	8%削減
	2019	8.84	9%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

廃アルミ排出量増加の主な要因として考えられるのが、不良品の発生。これは、廃アルミだけでなく、あらゆる環境負荷に対してマイナスの作用を及ぼす事象であるため、この対策なくして廃アルミ排出量削減はなしと言っても過言ではございません。現在、月1回「正しい材料交換(つなぎ)方法の教育」を実施しております。この強化・充実を図り、不良品発生防止、ひいては廃アルミ削減へと繋げるべく、担当者と共に、取り組んで参ります。

水使用量(目標値：総量(m³))

基準年度実績：2015年度実績を基準とする。			
削減目標量	年度	削減目標量(m ³)	基準年比
	2015	現状把握	—
	2016	2015年度比1%削減	
	2017	2015年度比2%削減	
	2018	2015年度比3%削減	
	2019	2015年度比4%削減	

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

洗浄機更新により、クーリングタワーの使用が終了したことから、大幅の使用量削減が予想されることから、2015年度は現状把握に努めることと致しました。

2016年度以降は、設定された新たな目標の達成に向け、特に手洗い等の日常使用におけるムダに目を光らせながら、取組を推進することと致します。

化学物質(炭化水素)使用量(目標値：洗浄袋数原単位(使用量(ℓ) ÷ 洗浄袋数(袋)))

基準年度実績：2015年度実績を基準とする。			
削減目標量	年度	削減目標量(ℓ/袋)	基準年比
	2015	現状把握	—
	2016	2015年度比1%削減	
	2017	2015年度比2%削減	
	2018	2015年度比3%削減	
	2019	2015年度比4%削減	

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

新洗浄機における炭化水素使用量は、従来機と比べ大きく変化するため、目標値の変更を実施することと致しました。

新洗浄機が通年稼働する初年度にあたる2015年度の数値を今後の基準年として活動することとしたため、2015年度は現状把握に努めることとし、それ以降は洗浄機の特性と相談しながら、従来通り、削減活動を展開していくことと致します。

化学物質(潤滑油)使用量(目標値：※洗浄袋数(調整)原単位(使用量(ℓ) ÷ 洗浄袋数(袋)))

基準年度(2010年度)実績： 0.93 ℓ/袋			
削減目標量	年度	目標値(ℓ/袋)	基準年比
	2015	0.88	5%削減
	2016	0.87	6%削減
	2017	0.86	7%削減
	2018	0.855	8%削減
	2019	0.846	9%削減

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

不良品発生防止のカギを握るのが、この潤滑油。ゆえに潤滑油の行き過ぎた削減は、あらゆるところへ負の作用を及ぼす、危険な行為とも言えます。他の部分に悪影響を与えかねない行動は避けつつ、ムダが生じている部分の徹底的なあぶり出しに努めるというスタンスで、活動を展開して参ります。

※洗浄袋数(調整)原単位の概要とその算出方法につきましては、15頁「解説」を御覧ください。

グリーン調達(目標値：グリーン調達率(%))

基準年度(2010年度)実績：		57.12%
削減目標量	年度	目標値(%)
	2015	81%以上
	2016	82%以上
	2017	83%以上
	2018	84%以上
2019	85%以上	

中期環境目標達成に向けて(環境管理責任者)

活動開始から5年間は毎年5%ペースでの向上が実現できておりましたが、80%達成後はそのペースは鈍化傾向。
リサイクル率の様に当社における限界値が見えてきたような感も否めないながらも、他社に目を向ければ、グリーン調達率90%以上の事業者様も……。当社はまだ気づいていないグリーン調達率アップのポイントを、社員の今一度の知恵の結集と、他事業者様の取組の研究の中から探りながら、中期環境目標の達成を常に意識し、活動を展開して参ります。

解説

当社環境目標にて多用される「洗浄袋数」と「洗浄袋数(調整)原単位」とは(環境管理責任者)「洗浄袋数」とは

当社では、電力、廃アルミ、炭化水素、潤滑油の4項目の年度毎の状況を判断する根拠として、「洗浄袋数」原単位を使用致しております。

当社の工程の流れは、製造工程→洗浄工程→検査・出荷工程の3工程に大きく分けられます。製品を次工程に引き渡す際、原則1袋で1ロットになるようにやり取りしております(右写真の1袋が1ロットとなります)。

製品を洗浄する際も、この袋単位で作業が行われます。そのため、当社では、「洗浄袋数(〇〇袋)」というように、ロット数を洗浄袋数と呼称することが慣習化しております。



従いまして、「洗浄袋数」という用語は、「製造ロット数」と同義と解釈して頂いて差支えございません。

「洗浄袋数(調整)原単位」とは

洗浄袋数(製造ロット数)を原単位として用いることは、一見、大変理に適っているように思われますが、活動を進めていく内、一つの問題が明らかになって参りました。

当社の製品は、ロット毎に入数がまちまちであるため、入数の平均が基準年のそれと大きく異なってしまう場合、正確な比較をすることができないのです。

そこで、1ロットあたりの製品入数を基準年と合わせるための調整をすることで、比較の精度を向上させることに致しました。

この調整は、以下の手順にて行い、こうして算出した原単位を、社内呼称として「洗浄袋数(調整)原単位」と呼ぶことと致しました(2012年度より、電力、潤滑油、廃アルミの3項目にて適用)。

調整原単位算出手順

例：電力にて 当月(1か月)使用量49,038kWh、洗浄袋数2,611袋、製造数17,146万個
基準年(年間)使用量562,463kWh、洗浄袋数26,720袋、製造数177,556万個 の場合

i) 当月洗浄袋(製造ロット数)÷当月製造数=製品1個あたり袋数(袋/個)を計算する

$$2,611袋 \div 17,146万個 = 0.00001523(袋/個) \text{---} \textcircled{1}$$

ii) 調整(1)の値(調整(1))=①÷(基準年洗浄袋数÷基準年製造数)を計算する。

$$0.00001523(袋/個) \div (26,720袋 \div 177,556万個) \doteq 1.01 \text{---} \textcircled{2}$$

②より、当月は基準年と比較して品物1個あたり1.01倍の電力量が増加したことが分かる。

iii) 調整(2)の値(調整(2))={1-(②-1)}×当月使用量を計算する。

$$\{1-(1.01-1)\} \times 49,038kWh = 48,547.62kWh \text{---} \textcircled{3}$$

iv) 調整後原単位を算出する(調整後原単位=③÷当月洗浄袋数(製造ロット数))

$$48,547.62kWh \div 2,611袋 \doteq 18.59(kWh/袋) \text{ (因みに基準年の原単位は21.05kWh/袋)}$$

5.環境目標と環境活動計画

2) 2015年度環境活動計画

(1) 二酸化炭素排出量削減に関するもの

二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) 過去3年間の実績		2012年度 329,319kg-CO ₂	2013年度 326,337kg-CO ₂	2014年度 270,492kg-CO ₂
項目	取組内容			実施責任者
電力使用量の削減	毎月の電力使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。			田辺 栄一
	電力使用量、デマンド値の掲示板を各階に設置し、速報値の見直しを行う。			田辺 栄一(1F) 2Fパート社員(2F)
	電力使用量削減に繋がる啓発教育を実施する。			田辺 栄一
	終業時間を厳守し、残業等による無駄な電力使用抑制に努める。			全社員
	新型エアコン等、電力使用削減に貢献可能な機器の調査及び導入に向けての提案を行う。			田辺 栄一
	夏期、スマートメーターのデマンド警告設定値を275kWとし、警告表示時にはデマンドオーバー防止のための行動の実施を指揮する。			田辺 栄一
	デマンド設定値逸脱防止のため、ピークシフト生産、前倒し生産等の施策を検討、実行し、その指揮及び調整を行う。			来 満
	1F製造現場の温・湿度を毎日記録する。			田辺 栄一
2015年度目標値 原単位：現状把握 デマンド：275kW	1F洗浄場の温・湿度を毎日記録する。			斉藤 進
2Fフロアの温・湿度を毎日記録する。			石原 隆雅	
灯油使用量の削減 2015年度目標値 5.87ℓ/日 (稼働日原単位)	毎月の灯油使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。			三輪 千鶴
	暖房機の温度調整機能を活用し、「中」以下での運転を励行する。			三輪 千鶴
LPG使用量の削減	毎月のLPG使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。			山崎 洋幸
	フォークリフトのエコドライブに関する啓発教育を実施する。			来 淳一郎
	手洗時における瞬間湯沸器使用禁止期間を設定し、事前啓発と事後の効果の検証をそれぞれ行う。			山崎 洋幸
	冬期の瞬間湯沸器のガス、水量の設定を行い、事前遵守啓発と事後の効果の検証をそれぞれ行う。			山崎 洋幸
ガソリン使用量の削減	毎月のガソリン使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。			来 尊重
	効果的なエコドライブ方法に関する啓発教育を行う。			来 尊重
	2015年度目標値 3,275ℓ/年 (総量) 実車によるエコドライブ乗車体験実習を行う。			来 尊重

来ハトメ環境トピックス2015

3. 「重油」のない環境活動計画 ～重油不使用元年～

環境活動開始以来、当社の環境活動計画に鎮座し続けていた「重油使用量の削減」。この文言、上記2015年度環境活動計画からは、削除されております。

これは、2014年8月に重油ボイラーを熱源とする洗浄機が廃止され、それに代わり電力を熱源として用いる新洗浄機に完全更新したため、2015年度は、当社にとって、年初より重油不使用となる記念すべき初年度となりました。

これにより、どれほどの二酸化炭素排出量削減が実現できるものか。2015年度の環境活動は大きな期待に胸躍らされながらの船出となりました。

5.環境目標と環境活動計画



(2) 廃棄物排出量削減、材料歩留まりの向上に関するもの

廃棄物排出量過去3年間の実績		2012年度	2013年度	2014年度
事業系一般廃棄物(kg)		2,705	1,700	1,795
産業廃棄物(廃ウエス)(kg)		1,200	1,800	1,800
紙くず(リサイクル率)(%)		32.84%	30.56%	34.93%
廃アルミ(有価物)(kg)		205,390	215,130	218,161
項目	取組内容	実施責任者		
事業系一般廃棄物排出量の削減	毎月の事業系一般廃棄物排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	加茂 隆弘		
	工程内検査にて使用するウエスについて、洗浄リユースの運用とその指揮を行う。	加茂 隆弘		
	ごみ箱チェックを行い、分別ルールが守られているかを把握すると共に、問題があれば指導を実施する。	加茂 隆弘		
	現在一般廃棄物として捨てられているものについて、リユース、リサイクル可能品を見つける(2品/年)。	加茂 隆弘		
廃ウエス排出量の削減	毎月の産業廃棄物(廃ウエス)排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	セノ リト アンジェロ		
	ウエスリサイクル基準一覧表を作成、掲示し、汚れ度合いの少ないウエスの廃棄を防止する。	セノ リト アンジェロ		
	毎日廃ウエスと事業系一般廃棄物の分別が徹底されているかを確認し、不備がある場合は分別作業を行う。	セノ リト アンジェロ		
紙くずリサイクル率の向上	毎月の紙くずリサイクル量を記録し、各月毎の見直しを行う。	有山 浩一郎		
	油のついた紙もウエスで拭き取り、リサイクルに回すことを徹底させる。	有山 浩一郎		
	紙と事業系一般廃物の分別が正しくできているか、毎日確認する。	パート社員		
廃アルミ排出量の削減	毎月の廃アルミ排出量を記録し、各月毎の見直しを行う。	加藤 直		
	材料台のグリースを2ヶ月毎に交換する。	加藤 直		
材料歩留まりの向上	オイルボックスの定期清掃を実施する。	井出 学 加藤 直		
	缶開けルール徹底のための啓発活動を行い、その効果を検証し、必要があれば指導を行う。	加藤 直		
	正しい材料つなぎ方法について朝礼時に講習を行う。	井出 学		
	材料つなぎ教育の効果について、テスト形式にて検証を行い、問題があれば指導を行う。 (経済情勢による)潤滑油の全交換を実施する。	井出 学 来 昌伸		

(3) 水使用量削減に関するもの

水使用量(m ³)		2012年度	2013年度	2014年度
過去3年間の実績		1,140	1,061	571
項目	取組内容	実施責任者		
水使用量の削減	毎月の水使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	宮本 哲次		
	節水のための啓発教育を実施する。	宮本 哲次		
	雨水タンクの有効的な利用方法について、再検証を行う。	宮本 哲次		
	漏水、無駄遣い等の監視及び注意喚起のため、毎週水曜日に水道メーターを確認し、速報値を掲示する。	宮本 哲次		
2015年度目標値 現状把握	実情に即した節水ポスターを作成し、掲示する。	宮本 哲次		

5.環境目標と環境活動計画

(4) 化学物質使用量削減、有害化学物質取扱いの禁止に関するもの

化学物質使用量過去3年間の実績		2012年度	2013年度	2014年度
炭化水素(洗浄袋数原単位)		2.66	1.69	0.99
潤滑油(洗浄袋数(調整)原単位)		0.88	0.87	0.65
項目	取組内容	実施責任者		
炭化水素使用量の削減 2015年度目標値 現状把握	毎月の炭化水素使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。	来 博行(～4月)		
		斉藤 進(5月～)		
潤滑油使用量の削減 2015年度目標値 0.88ℓ/袋 (洗浄袋(調整)原単位)	毎月のラタックコンパウンド使用量を記録し、各月毎の見直しを行う。 オイル集積路の見直しを実施する。	来 淳一郎		
		来 淳一郎		
有害化学物質取扱いの禁止	社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する。 社内にて使用する化学物質が法令類に非該当であるかを調査する。 社内使用化学物質の性状、有害性及び事故時の対応に関する教育を実施する。	石原 隆雅		
		石原 隆雅		
		宮本 哲次		

(5) グリーン調達に関するもの

グリーン調達率(%) 過去3年間の実績		2012年度	2013年度	2014年度
		71.13	75.18	80.42
項目	取組内容	実施責任者		
グリーン調達の推進 2015年度目標値 81%以上 (グリーン調達率)	毎月のグリーン調達率を記録し、各月毎の見直しを行う。 グリーン購入品リストの見直しを行い、更新する。 グリーン購入未実施の商品を抽出し、その商品がエコマーク付き商品に代替可能か調査する。	福田 則子		
		来 博行		
		来 博行		

来ハトメ環境トピックス2015

4. 環境活動で、人が育った！ ～環境活動により自らの成長を手にした社員の成功事例集①～

当社の環境活動計画を目にされた方は「活動をずいぶん細分化してるね」と異口同音におっしゃいます。なぜそうなるのかと申しますと、各担当者の意見をふんだんに盛り込んだ結果こうなりました、それに尽きます。

活動開始から7年目を迎える今となつては、誰もが自然に年間施策の策定に取り組み、一人数個の施策を出してくれこそしますが、活動開始時点ではそうもいかなかったというのも、また事実……。

そこで、当社において活動開始当初から施策策定から実際の運用に至るまで担当者主体の活動として取り組み続けた結果、こんなにも立派な「エコ人間」へと成長しました！という事例を、御紹介致します。

来 尊重さん(2010年4月入社)の場合

就任時は環境活動に対し、後ろ向きだった彼。しかし活動を重ねていく内に、エコドライブのそして環境活動の魅力に取りつかれ出し、関連資格を自ら取得したり、自身の提案にて実車によるエコドライブ講習を実施したりと、精力的な活動を展開中!!



年月	できごと
2010.4	入社
2010.7	ガソリン担当者に就任
2010.9	初の施策策定「社用車を使う人に頑張ってもらおう」
2011.6	エコドライブ啓発教育の社内講師となる
2012.6	エコドライブ検定3級取得
2013.2	「実車によるエコドライブ講習を実施したい!」と提案
2013.9	実車によるエコドライブ講習初実施
現在	社内のエコドライブリーダーとして奮闘中

5.環境目標と環境活動計画



(6) その他の環境活動に関するもの

項目	取組内容	実施責任者
環境への取組の継続的な改善	各項目担当者から提案されるエコ替え提案について検討し、効果的且つ導入可能と判断されるものについては、その導入を決定する。	来 満 来 昌伸
	各種環境系資格(危険物取扱者、eco検定等)、労務系資格(フォークリフト技能講習等)の案内と資格取得に関する支援を行う。	来 満 来 昌伸
	QC会議時にeco検定講座を実施する。	来 博行
	各種環境系セミナー、展示会等の情報を入手し、その案内を行う。	石原 隆雅
事業活動に適用される環境法規制等の遵守	事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては法令ファイルの入替を行う。	石原 隆雅
	工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。	石原 隆雅
	環境関連法規順守のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。	石原 隆雅
環境教育・訓練の実施	製造現場の作業に関連付けた形での環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。	来 淳一郎
	2F作業現場の業務に即した環境教育を毎月実施し、実施状況の記録及び実施後のフォローを行う。	佐々木 勝
	備品に対するコスト意識、節約意識向上のため、各備品の価格表記を行い、その管理を徹底する。	大小堀 レオニラ
環境教育・訓練の実施(緊急事態の想定)	火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	佐々木 勝
	遠心脱油器の油漏出訓練の実施の事前準備及び実施指揮とその後のフォローを行う。	山崎 洋幸
	火災、地震時の心構えに関する教育を行う。	佐々木 勝
	八潮市防火協会主催の消火訓練の案内と当日の指揮を行う。	来 昌伸 佐々木 勝
生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	生物多様性の保全と持続可能な利用のための取り組みに関連する教育を行い、実施状況を記録する。	石原 隆雅
	社内使用の紙製品は原則森林認証品を使用するものとし、切り替えがなされていないものについては順次切り替えを行う。	福田 則子
	会社に接する用水路にて定点撮影を行い、状況を記録し、外来生物が確認された場合は、適切に除去する。	石原 隆雅
地域貢献	八潮市防火協会主催の環境ボランティア等の活動に参加し、その実施状況を記録する。	来 昌伸
	QC会議時に環境ボランティア実施状況の報告を行う。	ボランティア参加者
	ペットボトルキャップの収集、寄付を通じた社会貢献活動を行う。	来 博行
5Sの徹底	各グループ毎月1個以上の5S活動を実施する。	全社員
	各グループの5S実施状況の記録及び掲示を行い、5S活動の活性化を推進する。	石原 隆雅
	5S内部監査を実施し、他グループの5Sポイントを指摘し、改善を促す。	石原 隆雅
情報開示	当社環境活動レポート及び環境活動の状況をホームページ等にて公開する。	石原 隆雅

6.環境関連法規


1) 法規制の遵守状況のチェック結果

(1) 廃棄物、リサイクル関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	排出者責任の原則	委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物処理業許可証の写しを受領、確認済。	遵法
	第6条の3 第6項	事業者の一般廃棄物の処理	入口に掲示板を設置し、容易に立ち入れないようにPCB廃棄物を囲い、揮発防止のためドラム缶に密閉保管、外側にはPCB廃棄物である旨の注意書きも添付。	
	第12条の2 第2項	PCB廃棄物の保管基準	2011年11月9日、越谷環境管理事務所に設置の届出済。	
	第12条の2 第6項	特別管理産業廃棄物管理責任者設置の義務	2015年度計10枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2016年4月1日、越谷環境管理事務所に送付、同日受理され、書類の控えを保管している。	
	第12条の3 第1項	産業廃棄物マニフェストの交付		
	第12条の3 第5項	産業廃棄物マニフェストの保存		
	第12条の3 第6項	マニフェストに関する報告書の作成、報告義務		
PCB特措法 	第8条	保管等の届出	2015年度分の保管の届出については、2015年4月1日に越谷環境管理事務所に送付、同日受理され、書類の控えを適正に保管している。	遵法
	第10条 	期間内の処分	コンデンサについては、2011年7月21日、JESCOに機器登録完了、2016年5月18日PCB廃棄物処理の説明会に参加、6月6日、中小企業者等軽減制度申込書提出、2016年11月頃処分完了予定。	
		PCB汚染物(紙、ポリ袋)については、2016年3月3日「安定器等汚染物の処理に関する登録説明会」に参加、同4月5日に搬入荷姿登録のための書類提出、4月11日登録料振込完了し、現在処理待ち状態。		
第16条 	立入検査等	2015年9月1日、越谷環境管理事務所のPCB立入検査を受検。検査時は適切に対応し、コンデンサ類の保管方法に対する指導(コンデンサをドラム缶等気密性の高い容器内で保管すること)にも後日対応完了し、現在、PCB廃棄物はドラム缶内にて保管。		
	消費者の責務	2015年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、過去処分時は適切に処分を実施し、その際の書類も適正に保管されている。		
資源有効利用促進法	第5条	事業者及び消費者の責務	2015年度においては特定家電の処分事案は発生していない。昨年度以降の分のリサイクル券の控えは適正に保管されている。	遵法
家電リサイクル法	第6条の3	再資源化預託金の預託義務	適用事例は2015年度においては発生していない。	遵法
自動車リサイクル法	第73条			遵法

6.環境関連法規

(2) 典型七公害関連法の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
騒音規制法	第8条	特定施設の数等の変更の届出	2014年に洗浄機更新に伴い、コンプレッサー1台、クーリングタワー2台を廃止。 上記事案については届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	遵法
振動規制法	第5条	規制基準の順守義務	未測定だが、近隣からの苦情はなく、届出時に八潮市役所による検査済。	遵法
	第8条	特定施設の変更等の届出	2014年に洗浄機更新に伴い、コンプレッサー1台を廃止。 上記事案については届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
悪臭防止法	第7条	規制基準の順守義務	臭気を感じることなく、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断。	遵法
八潮市公害防止条例 	第17条1	特定工場設置の許可	設置許可済(2010年5月7日許可番号0030号)。	遵法
	第18条1	特定工場変更の許可	届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。	
	第20条	掲示板の設置	道路沿いの入口に設置済(設置状況は左写真参照)。	

(3) その他の環境関連法規の遵守状況

法令名	条・項	遵守事項	チェック結果	遵守状況
浄化槽法	第5条	設置等の届出	届出済。	遵法 但し BOD値 注意必要
	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃	3か月ごとの保守点検及び清掃を実施。	
	第11条	水質に関する検査(定期検査)	2015年10月28日受検(判定：おおむね適正)。	
フロン排出抑制法	第5条	事業者の責務(簡易点検の実施義務)	簡易点検については2016年7月に初回実施予定。	遵法 但し 点検を 確実に 実施 すること
	第2項	事業者の責務(定期点検の実施義務)		
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務		
八潮市火災予防規則	第10条	火を使用する設備等の設置の届出	炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。 八潮市消防本部に届出済。	遵法
消防法	第13条の3	危険物取扱者立会いの義務	2016年3月現在、危険物取扱者資格保持者4名、今後、更に増員予定。	遵法
	第13条の23	保安に関する講習受講義務	2016年度該当者2名、2016年7月6日受講予定(申込完了)。	

2) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

7.緊急事態の想定とその対応策

1) 想定される緊急事態

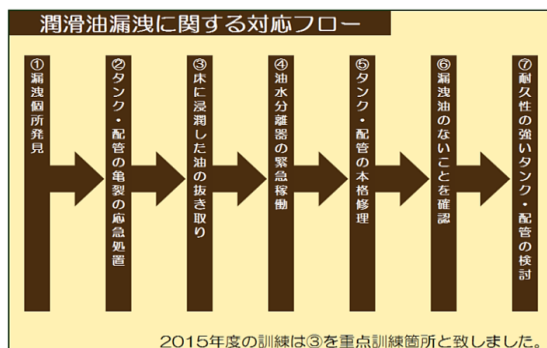
当社が現在想定している緊急事態は以下の3点です。

(1)潤滑油の漏洩、(2)地震、(3)火災

2015年度は、上記の緊急事態を想定した訓練を、下記の通り実施致しました。

2) 緊急事態の対応及び訓練状況

(1) 潤滑油の漏洩(2015年10月14日(水)実施)



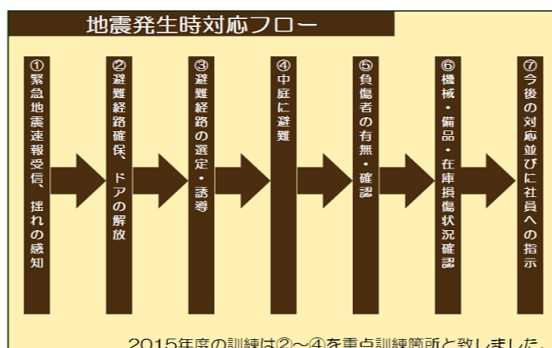
昨年度に引き続き、ギャボンポンプ故障による油の漏洩を想定した訓練を実施致しました。

「漏洩発生時に機器を遮断する際のスイッチの場所が分からない」という意見が多かったため、切るべきスイッチの場所を全員で確認致しました。



漏洩時遮断すべきスイッチを説明

(2) 地震の発生(2015年10月14日(水)実施)



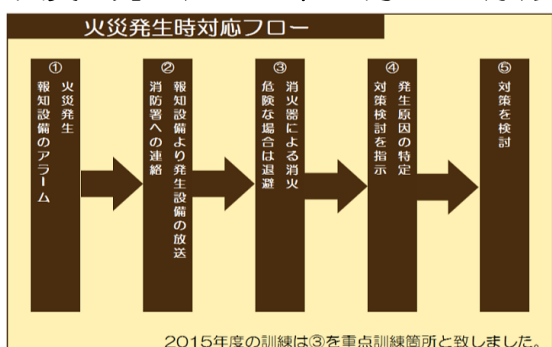
今年度は、地震発生時の避難を想定した訓練を実施致しました。

避難経路の確認と、スピーディーな避難行動に重点を置いて訓練を行うも、全員避難完了までの時間は昨年度比1秒オーバーという結果に……。



全員、無事避難完了!しかし…

(3) 火災の発生(2015年10月14日(水)実施)



避難訓練の後には、訓練用消火器による模擬消火訓練を実施。

訓練とは言え、真剣そのもの。火に見立てた的に命中すると、歓声が上がリ、緊張感の中にもそれ以上の楽しさがある、充実した訓練となりました。



今年も、無事命中!!

八潮市防火安全協会主催消火訓練(2015年11月12日(木)実施)

近年、恒例行事(?)と化した、八潮市防火安全協会主催の消火訓練に、2015年も社内の有志17名が参加。

社内で毎年消火訓練を重ねていても、本物の火となると、やはり勝手が違うようで……。

でも、とてもいい経験になりました。



まずは、大声で「火事だあーっ!!」



もう少しで消火成功がんばって!



最後は全員で記念撮影「無事消火完了しました!!」

1) 環境教育・訓練の概要

当社にて、2015年度に社内にて実施致しました教育・訓練は下表の通りです。

内 容	概 要	担当者	実施計画	実施状況
一般教育	製造現場従業員に対する全般的な環境教育	来 淳一郎	年12回	計画通り
	管理部門従業員に対する全般的な環境教育	佐々木 勝	年12回	計画通り
	電力使用量削減に繋がる教育	田辺 栄一	年6回	年7回
	エコドライブ方法に関する教育(座学)	来 尊重	年4回	計画通り
	エコドライブ方法に関する教育(実技)	来 尊重	年1回	計画通り
	eco検定講座	来 博行	年12回	計画通り
	化学物質の性状等に関する教育	宮本 哲次	年2回	計画通り
	水に関する教育	宮本 哲次	年3回	計画通り
	地震、火災時の心構えに関する教育	佐々木 勝	年2回	年1回
	生物多様性に関する教育	石原 隆雅	年12回	年10回
訓練 (緊急事態の想定)	一般従業員の環境関連セミナーへの参加	—	適宜	年3回
	潤滑油漏洩を想定した訓練	山崎 洋幸	年1回	計画通り
	地震、火災避難訓練	佐々木 勝	年1回	計画通り
	八潮市防火安全協会主催消火訓練	佐々木 勝	年1回	計画通り
法規制関連	環境関連法規遵守のための教育	石原 隆雅	年6回	年4回

2) 主な環境教育・訓練の取組事例

- (1) 製造部門従業員に対する全般的な環境教育 担当：来 淳一郎
 管理部門従業員に対する全般的な環境教育 担当：佐々木 勝

EA21認証取得年より実施。当初、各フロア従業員に対する全般的な環境教育を施すことを目標に開始致しましたが、活動が進むにつれて、その役割が変化。現在は、電力、水などの各担当者にとって大きな障害となる、一般従業員への削減行動のお願い(押しつけ)が主な活動内容となっております。環境活動に対する全社的な意識の高まり、各種教育プログラムの充実により、その役割は薄れつつありますが、こうした「嫌われ役」的活動も時には必要になるのが環境活動。その意味で、今後も担当者の活動に、密かに期待している次第です。

2015年度の主な実施内容

ビニール類は必ず分別し、有価物とするよう指導した(製造部門 2015年3、4月)
 ごみ箱にリサイクル可能な紙が捨てられていたことから、徹底するように指導した(管理部門 2015年11月)

- (2) 電力使用量削減に繋がる啓発教育 担当：田辺 栄一

2012年6月スタート。社内のデマンドコントローラーのデータ分析結果から節電のための行動を教育するという社内節電啓発に関するものから、家庭の節電メニューなどといった家庭の節電に繋がる内容に至るまで、幅広い内容が取り上げられております。

2015年度の主な実施内容

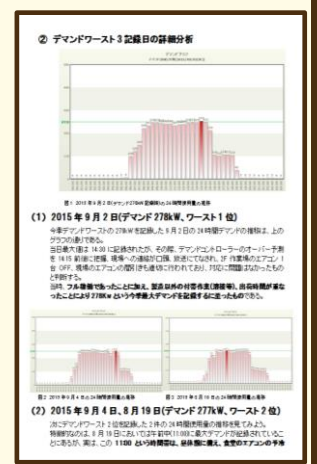
①節電メニュー(2015年6月)

電力会社HPより資料を抜粋し、各家庭で実行すべき効果的な節電メニューを紹介(右資料は、一部抜粋)。



②デマンド分析(2015年10月)

夏季のデマンドコントローラーのデータを基に、高デマンド値が記録された日の行動分析、次年度以降の対策について、担当者自身の考察結果を紹介(右資料は、一部抜粋)。



受講者の感想

- ★ 職場のデマンド分析による節電啓発が良かった。
- ◆ 家庭でも使える節電術が取り扱われることは、実にありがたい。

8.教育訓練計画

(3) エコドライブに関する啓発教育 担当：来 尊重

2011年6月開始。2015年度は担当者が手書きで作成した資料を基にして行われる座学を4回、実車を用いてエコドライブテクニックの解説を行う実技1回の計5回実施。現在、社内において1番人気の環境教育。ここでは、この一部を御紹介致します。

2015年度の主な実施内容

①水素自動車関連の復習(2015年7月)

クイズ形式を多用した手作り感抜群の教材が受講者を魅了。最後のアイス出荷額の問題は御愛嬌？



②第3回実車によるエコドライブ講習(2015年10月)

避難訓練と同日に実施。今回は井出副工場長がドライバー役として自身のエコドライブテクニックを披露。

下の写真はこのときのスピードメーターを撮影したもの。スピードメーターの上に緑色に光る「ECO」の文字こそ、エコドライブ大成功の証！



技術披露中の井出副工場長

受講者の感想

- ★ クイズ形式を交えた楽しく分かりやすい講習。ときに笑いもあり、印象に残る。
- ◆ 水素自動車の説明は大変興味深く聞かせて頂いた。

(4) eco検定講座 担当：来 博行

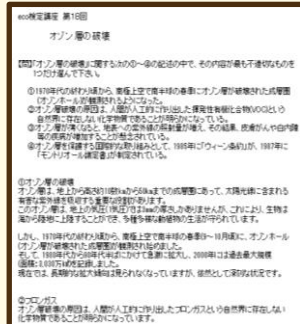
2014年3月開始。毎回過去にeco検定に出題された問題とその関連事項を扱う講座。eco検定の合格者を輩出することよりも、社員に環境関連諸問題への理解を促すことを主目的と致しております。

2015年度の主な実施内容

オゾン層の破壊(2015年10月、第18回)

右資料(一部抜粋)の様に、前半に問題、後半にその解説というパターンにて展開。

難しい内容を扱いながらも、それを感じさせない教材作りには、ただただ脱帽。



受講者の感想

- ★ 過去問をベースにその関連事項を扱うというスタイルは大変良いと思う(同意見多数)。
- ◆ 今後は受験予定者に対するフォロー(受験情報、予想問題提供等)も行い、結果に直結する取組になればいいと思う。

(5) 化学物質の性状等に関する教育 担当：宮本 哲次

2015年度に新たな取り組みとして開始。危険物取扱者(乙4)、eco検定という2つの資格を取得した社員が講師役。自身の学習体験を交えた講義を、2015年度は年2回実施致しました。

2015年度の主な実施内容

2015年度は、初回にSDS制度についての解説、第2回目として当社で使用する炭化水素(ソルトWP-1)のSDSから、同物質の性状、有害性、消火方法等を講義致しました。

受講者の感想

- ★ 化学物質の適正管理のためには、有害性や適切な取り扱い方法に関する情報が必要であることがよく分かった(同意見多数)。
- ◆ この講習を、化学物質を知る一つのきっかけにしてゆきたい(同意見多数)。

8.教育訓練計画

(6) 水に関する教育 担当：宮本 哲次

2015年度に新たな取り組みとして開始致しました。

2015年度の主な実施内容

年間に2回の講義形式の教育を実施。その中では、水質汚濁(第一回)、水政策(第二回)といったテーマが取り上げられました。

受講者の感想

- ★ 生活排水。何気なく流しているものが大切な海や川を汚してしまっていることに驚いた。
- ◆ 今後は水に関するエピソード、水使用量の現状を取り上げながら、節水意識の向上に繋がるような講習になれば良いと思う。

(7) 生物多様性に関する教育 担当：石原 隆雅

2012年4月開始。2015年末までに計25回実施致しました。

生物多様性の概要から、生物多様性関連の法規等に至るまで、幅広い内容を取り扱っております。

2015年度の主な実施内容

生物多様性条約(2015年11月)

2015年度は、前半の6回にてリオ宣言を、後半の4回にて生物多様性条約をそれぞれ取り上げ、講義形式にて講習を行いました。

「クイズ形式を取り入れるべき」という受講者の意見を反映させる形で、教材の中に問題を入れ込んだことに御注目。



受講者の感想

- ★ 種の絶滅速度が加速している現状に大変な危機感を覚えると共に、種の保存の重要性について考えさせられた(同意見多数)。
- ◆ 難しいテーマをかみ砕いて説明しようという意図は感じられる。しかし、もう少しやさしく解説できるのでは？

(8) 一般従業員の各種環境セミナーへの参加

2015年度に新たな取り組みとして実施。

環境管理責任者が調査・厳選した環境セミナーを、社員の内任意の1名が受講。後日、セミナー参加報告会を行い、その内容を全社員に教育するというのがこの取組の概要となります。

実施状況は上表の通り、また、下記のセミナーを受講した社員の感想からも、そこで受けた刺激が如何ほどのものであったかを、感じ取ることができるでしょう。

月	セミナー名	参加者
9	環境問題の現況と将来を展望するセミナー	山崎 洋幸
11	彩の国EA21フォーラム	宮本 哲次
12	環境人材コンソーシアムセミナー	来 博行

従業員の各種セミナー参加の実施状況(2015年度)

受講したセミナーの一例と受講者の感想

環境問題の現況と将来を展望するセミナー(2015年9月4日実施)

セミナー内容：生物多様性を主題としたセミナー。特に印象的だったのが、動物写真家の視点から人間と野生動物の関わりを研究し続けている、写真家の宮崎 学氏の講演。人間が長きにわたり、自分達の都合に合わせて自然と関わってきた結果、野生生物との距離感が急接近。その結果、人間の日常生活にさえ大きな支障を来すことも出始めているといった、衝撃的な内容でした。

当セミナーに参加した山崎 洋幸さん(製造部)の受講後の感想より

私はセミナーに参加し、地球で起こっていることにはすべて意味があり、実は我々人間に強くつながっているのだということを感じた。

因果応報という言葉がある。自分がしたことはすべて自分自身に戻ってくるという意味であるが、生物多様性に当てはめてみてもまさにその言葉通りと言えよう。我々が地球をねぎらってあげないと、その報いは野生生物の襲撃という形で我々に戻ってくることは十分にあり得るのだ。

このように考えると我々の事業活動の中における環境活動の持つ意味もぐっと深まってくると感じる。一つ一つの行動が持つ意味、それにより未来に自身が受ける報いを一人ひとりがもっと慎重に考えつつ行動すべきであろう。今回のセミナー参加が私自身がこうした認識を強く持つきっかけとなったことは、言うまでもない。

(9) 環境関連法規遵守のための教育 担当：石原 隆雅

2010年7月開始、EA21初回審査にて法規制に対する認識の甘さを指摘されたことへの反省として、初回審査後すぐに開講した、当社環境教育の原点とも言うべき講座。

その内容は、各種法規制の解説から、問題を使ったケーススタディーといった具合に実に多彩。6年目となる2015年度は、以下のような内容の楽しい(?)講義を行いました。

2015年度の主な実施内容

盆休み直前の緩んだ気分を喝!!廃棄物関連法テスト(2015年8月)

盆休みを翌日に控えた8月10日、早くも浮かれがちな社員の心に喝を入れんとばかりに、廃棄物関連法のテストを実施(「何と、いい迷惑な…」という声もちらほらと……)。

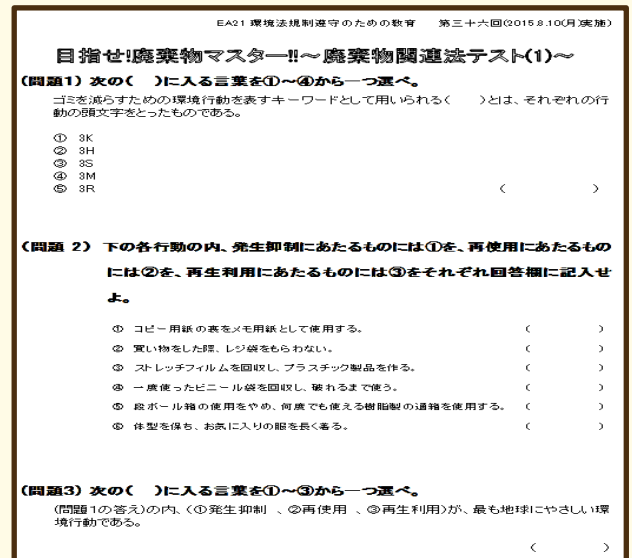
しかし、その意図とは裏腹に、問題が実にユル過ぎて、社員からは失笑を買う始末……。

特に、右の(問題2)の最後の⑥の問題。「こんなのが、何で環境活動に関係あるんだよ?」という声もちらほらと……。でもこれ、立派な「環境活動」ですよ!!

長期休暇前にテストを行うなどの暴挙に出たこともあってか、社員からの感想も、実に「辛口」なものが多かったことも、付け加えておきましょう(因みに、右の問題の解答はこのページの末尾に記載。レッツ、チャレンジ!!)。

受講者の感想

- ★ 注意深く学んでいく必要がある問題というのは分かるが、なにぶん、難しい。
- ◆ 今までの学習内容をテスト形式で取り上げた回が良かった。



来ハトメ環境トピックス2015

5 .2年連続受賞は、環境教育大成功の証? ～「環境 人づくり企業大賞」挑戦記～

2014年12月、企業の環境教育への取組の表彰制度が創設されたことを知る

「環境 人づくり企業大賞」(環境人材育成に関する先進企業等表彰)は、地球環境と調和した企業経営を実現し、環境保全や社会経済のグリーン化を牽引する人材、すなわち「環境人材」の育成推進を目的に、優良な取り組みを行う事業者を表彰するものです(環境人材育成コンソーシアムHPより抜粋)。

当社がEA21認証取得以来力を入れて取り組んできた社員への環境教育。猪突猛進とばかりに、特にこれといったモデルもないまま、オリジナルを追求し続けた当社のそれが、プロの目にはどう映るのか。これを知る絶好の機会を得たとばかりに、同賞の創設を知るや否や、挑戦を決意。資料を揃え、いざ、審判を待ちました。

結果は、見事、大賞(環境大臣賞)を受賞!半ば勢いで突き進んだ当社の取組の方向性の確かさが確認でき、喜びよりも安堵の感が勝る受賞となりました。



2015年11月、目指せ!二年連続日本一とばかりに、「環境 人づくり企業大賞2015」挑戦!!

「環境 人づくり企業大賞2014」にて中小企業部門日本一の名誉に与った当社。それに携わった社員(講師)を持ち上げながら、内容を更に深化させ、満を持して2度目の挑戦!

しかし、そううまくはいかないもの……。と思いきや、2年連続の大賞は残念ながら逃したものの、それに次ぐ優秀賞を受賞!

次なる目標は、「再度、大賞への返り咲き!」と言いたいところですが、もう、運は、全て使い果たしてしまったようで……。



(上の問題の答え)

(問題1)⑤ (問題2)① ②、② ①、③ ③、④ ②、⑤ ①または②、⑥ ① (問題3) ①

1) 主な環境負荷の実績と達成状況

(1) 基準年度使用・排出量との比較(総量ベース)

項目	単位	基準年度	使用(排出)量		基準年比増減 (▲：マイナス)
			基準年度	2015年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2010年度	428,929	251,277	▲177,652
電力	kWh	2015年度	562,463	562,463	※±0
LPG	kg	2010年度	717	474.27	▲242.73
ガソリン	ℓ	2010年度	3,447	3,285.01	▲161.99
灯油	ℓ	2010年度	1,480	1,227	▲243
事業系一般廃棄物	kg	2014年度	1,795	1,860	65
産業廃棄物(廃ウエス)	kg	2013年度	1,800	1,400	▲400
紙くず(リサイクル率)	%	2010年度	25.64	33.73	8.09%向上
廃アルミ(有価物)	kg	2010年度	294,600	241,234	▲53,366
上水	m ³	2015年度	405	405	※±0
炭化水素	ℓ	2015年度	12,600	12,600	※±0
潤滑油(ラタック)	ℓ	2010年度	28,018	22,000	▲6,018
グリーン調達率	%	2010年度	57.12	80.52	23.4%向上

※ 電力、上水、炭化水素につきましては、洗浄機更新初年度の2015年度を基準年度とするため、増減なしとなっております。

表中赤字の項目は、基準年度より増加(悪化)している項目を表します。

(2) 環境目標の達成状況

二酸化炭素排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	2010年度	総量(kg-CO ₂)	407,483	251,369	達成
電力使用量	2015年度	※1 洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋)	—	14.16	—
LPG使用量	2010年度	稼働日原単位(kg/稼働日数)	2.86	1.98	達成
ガソリン使用量	2010年度	総量(ℓ)	3,275	3,285	未達
灯油使用量	2010年度	稼働日原単位(ℓ/稼働日数)	5.87	5.11	達成

廃棄物排出量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
事業系一般廃棄物	2014年度	総量(kg)	1,777	1,860	未達
産廃(廃ウエス)	2013年度	総量(kg)	1,764	1,400	達成
紙くずリサイクル率	2010年度	※2 紙くず(kg)/ごみ総量(kg)×100%	30.64%	33.73%	達成
廃アルミ(有価物)	2010年度	※1 洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋)	9.22	6.07	達成

水使用量

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
水	2015年度	総量(m ³)	—	405	—

化学物質使用量に関するもの

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
炭化水素	2015年度	洗浄袋数原単位(ℓ/袋)	—	0.47	—
潤滑油(ラタック)	2010年度	※1 洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋)	0.88	0.55	達成

グリーン調達

項目	基準年度	単位	目標値	実績値	達成状況
グリーン調達	2010年度	グリーン調達率(%)	81%以上	80.52%	未達

※1 洗浄袋数(調整)原単位の概要とその算出方法につきましては当レポート15頁下段「解説」を御参照下さい。

※2 ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(kg)、産廃(廃ウエス)(kg)、紙くず(kg)の合計量となります。

表中赤字の項目は、目標値未達の項目を表します。

2) これが、2015年度当社環境活動の全貌だ！

2Fフロア

5S掲示板(その他)
2年目を迎えた
当社5Sの今は?(38頁)

デマンドコントローラー
(電力)
目標275kWの
達成なるか?(29頁)

湯沸器に調節の
限度値を表示(LPG)
押しない施策。
今年度の成果は?
(30頁)

新「水ポスター」(水)
清純路線で
節約心を刺激?
(34頁)

事業系、まさかの…
毎年順調な削減を見せていた
事業系一般廃棄物
今年度は、まさかの…
(33頁)

蛍光灯のLED化(電力)
2015年度当社環境活動の
最大の目玉施策
この効果やいかに?
(29頁)

1F(製造現場、洗浄場)

新洗浄機(炭化水素)
メーカー公称値
「半分の使用量」は
実現できたのか?
(35頁)

今年も好調維持?
(潤滑油)
過去数年絶好調!!
さて、今年は?
(35頁)

汚名返上!(廃ウエス)
是正処置常連だった
廃ウエス。遂に
大きな変化が!?
(33頁)

課題克服なるか?(LPG)
昨年度課題としてあがった
フォークリフト燃料。
今年度は?(30頁)

生産量増加の影響は?(廃アルミ)
お陰様で、生産量増加中。
その影響や、いかに?(33頁)

その他の環境活動

エコドライブ講習、その成果は?
ガソリン(31頁)

ボランティアは、成熟の域へ?
環境ボランティア他(37頁)

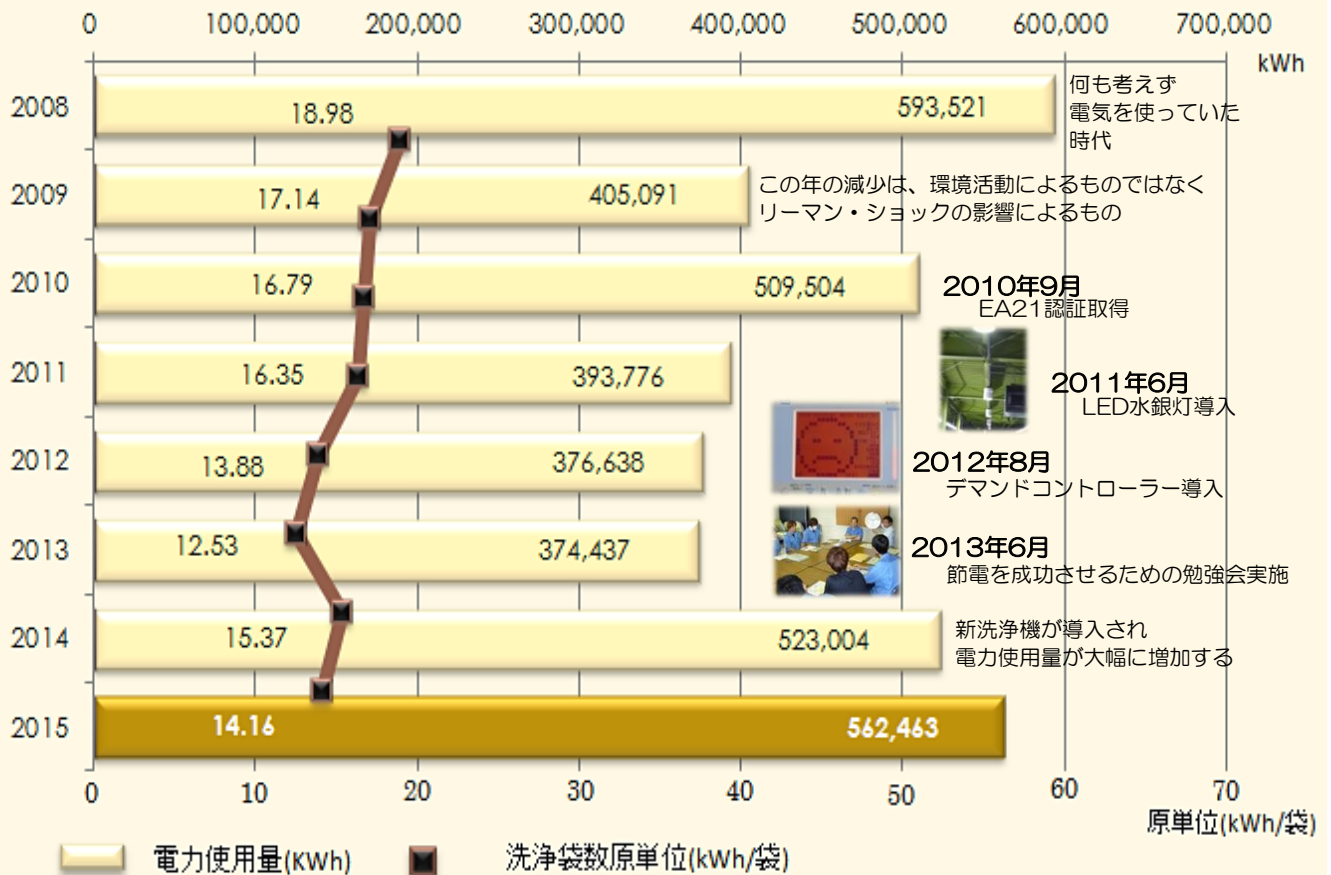
講演で、失敗の歴史を語る
その他の環境活動(39頁)

この頁は、2015年度の当社環境活動の全貌をダイジェスト版にて紹介したものです。気になる項目がございましたら、各項目末尾に記載の該当頁を御熟読頂ければ幸いです。

3) 2015年度各項目毎の取組の評価と次年度以降の取組内容

(1) 電力使用量 担当：田辺 栄一

① グラフで見る当社電力使用量削減活動のあゆみ



※ 2015年度の原単位は2010年度を基準年として算出したものです(参考値)。

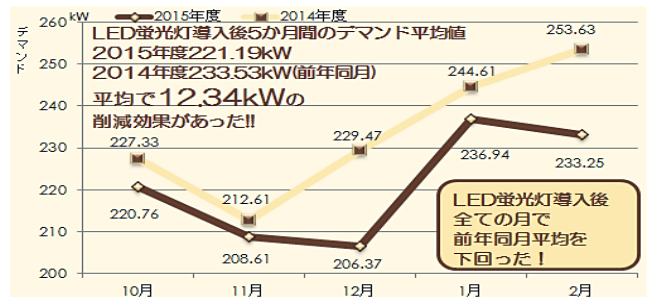
② 2015年度の活動内容

i) デマンド目標を275kWに設定(通年、特に6月～9月)

ところが、洗浄室のチラー増設が響き、278kW(目標値を3kWオーバー)という結果に……。しかし、女性パート社員の中にデマンド目標達成のために率先してエアコンOFF等の行動をとる人が現れたり、蛍光灯LED化が実現したりといった収穫(?)もあり、未達には終わったものの、「実りある未達」だったと言ってもいいのではないかと考えて(開き直って)おります。

ii) 社内の9割の蛍光灯をLED化(9月)

9月、デマンド目標未達に悩んでいると、社長から意外な、そして、嬉しい一言が「そんなにデマンドで大変な思いをしているのなら、蛍光灯をLEDに変えてみたら?」結果は、右グラフの通り、導入後、全ての月で昨年同月比を下回るという結果に。次の夏が、少し楽しみになりました。



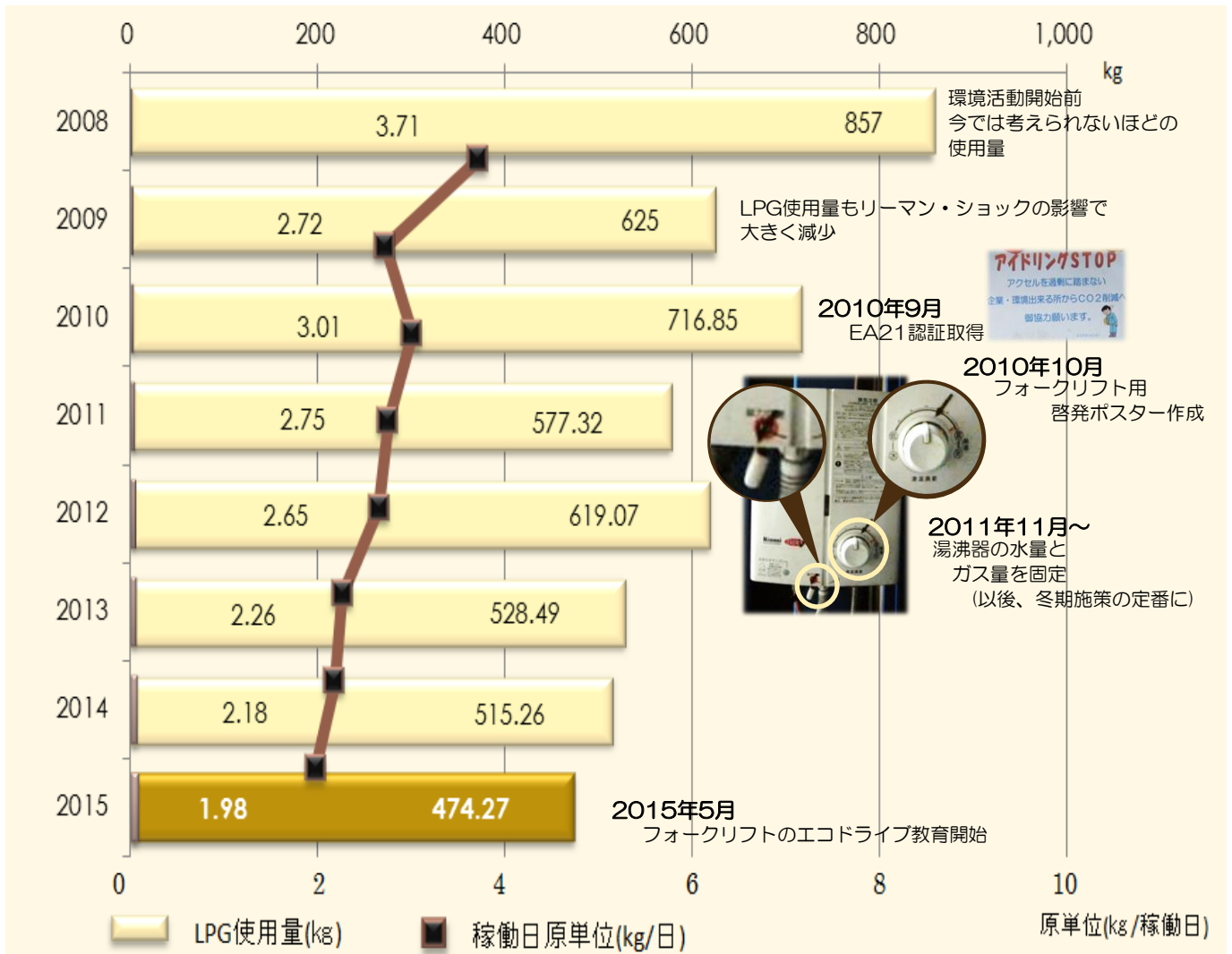
③ 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

電力使用量自体は洗浄機更新の影響をまろに受け、大変厳しいものとなりました。しかし、電力削減に対する女性パート社員の意識の変化や、すんなり実現した蛍光灯LED化に感動するといった具合に、活動の中に大きな感動を見出す機会も多々あった1年でした。

2016年度は、昨年12月に採択されたパリ協定を踏まえ、電力の分野で、どのような変革が必要なのかを教育するという事に注力した行動を推進致します。蛍光灯LED化早期実現は、まさに、今までの教育活動の賜物なものですから……。

(2) LPG使用量 担当：山崎 洋幸(全般)、来 淳一郎(フォークリフトエコドライブ)

① グラフで見る当社LPG使用量削減活動のあゆみ



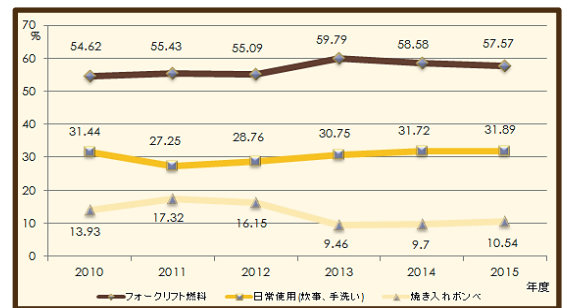
② 2015年度の活動内容

フォークリフトのエコドライブ教育講座開講(2015年5月～)

2014年度までの用途毎のLPG使用量の分析を行った結果、フォークリフト燃料の割合が年々増加していることが判明したため、その抑制効果を期待して実施。

結果は、右グラフの通り。フォークリフト燃料の用途別割合は、依然として突出して高いものの、わずかながら減少傾向も見られました。

減少幅はごく小さく、誤差の範囲ともいえるレベルではございますが、増加を抑制できたというのも、また事実。従って、フォークリフトのエコドライブ講習は、今後も継続することと致します。



LPG用途別使用割合(2010～2015年度)

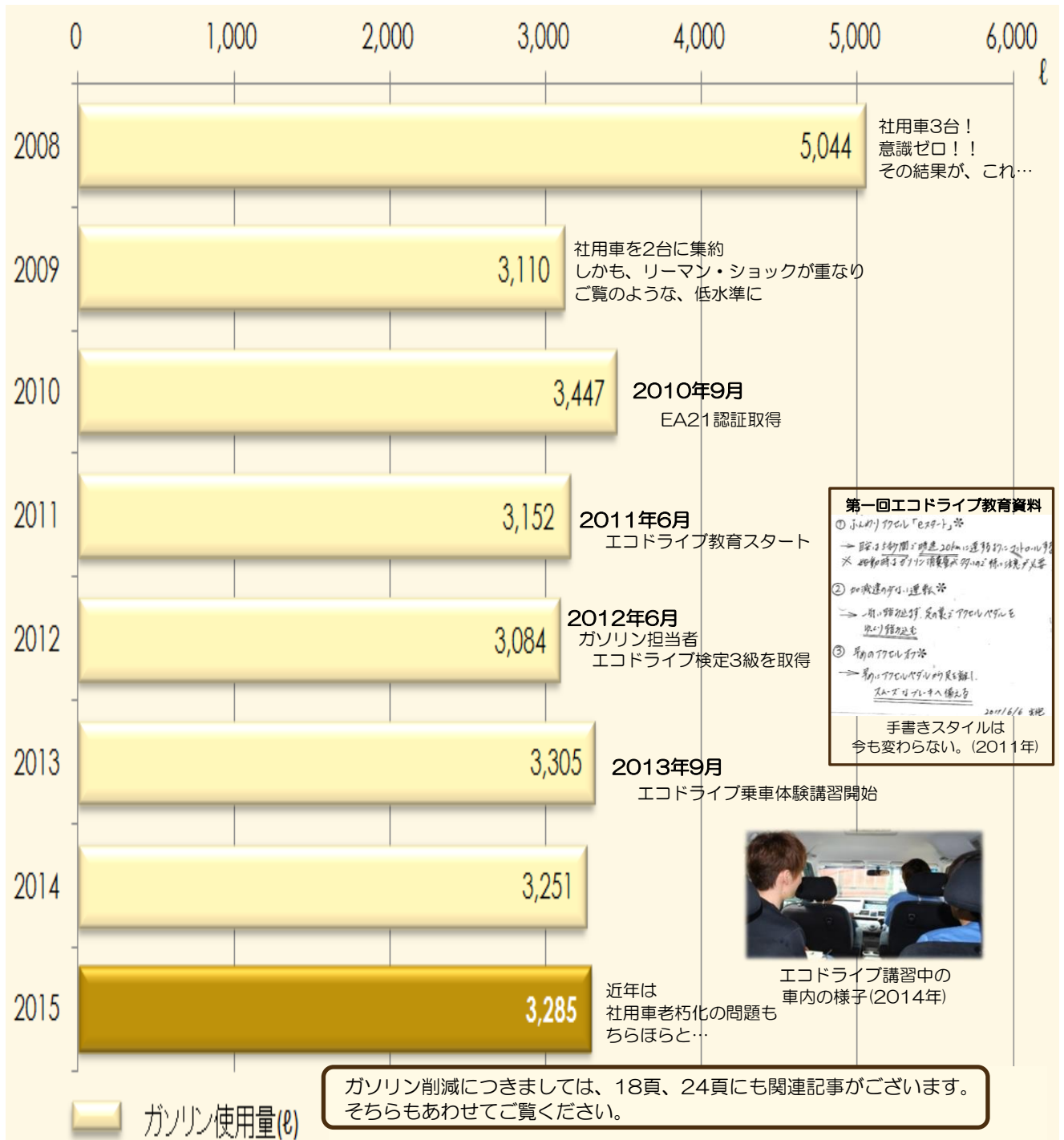
③ 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

「はっきり言ってネタを探すのが難しい。」LPG削減の担当者として携わった社員は異口同音にそう言います。確かに、参考にできる事例も少なく、施策の策定に苦労する分野であるのは間違いなさそうです。しかし、そんな逆境にも負けず、昨年度に引き続き最少使用量を更新。これは、担当者はじめ一人ひとりの工夫と努力の結果に他なりません。

2016年度の施策としては、基本的には昨年度の施策を継続。但し、その時々増加要因を見つけ、状況に応じた軌道修正が加えられるよう、月毎のデータ分析には注力致します。

(3) ガソリン使用量 担当：来 尊重

① グラフで見る当社ガソリン使用量削減活動のあゆみ



第一回エコドライブ教育資料

- ① 正しい「スタート」音
→ 踏む瞬間に時速20kmは遅く約2000rpm
× 踏切瞬間に約1900rpmを90%の踏切は必要
- ② 加速時のギヤ選定音
→ 滑らかな加速、急激なアクセルを
踏む音はNG
- ③ 滑らかなアクセル音
→ 滑らかなアクセルを踏む音は
滑らかな音に聞こえる

2011/6/6 配布
手書きスタイルは今も変わらない。(2011年)



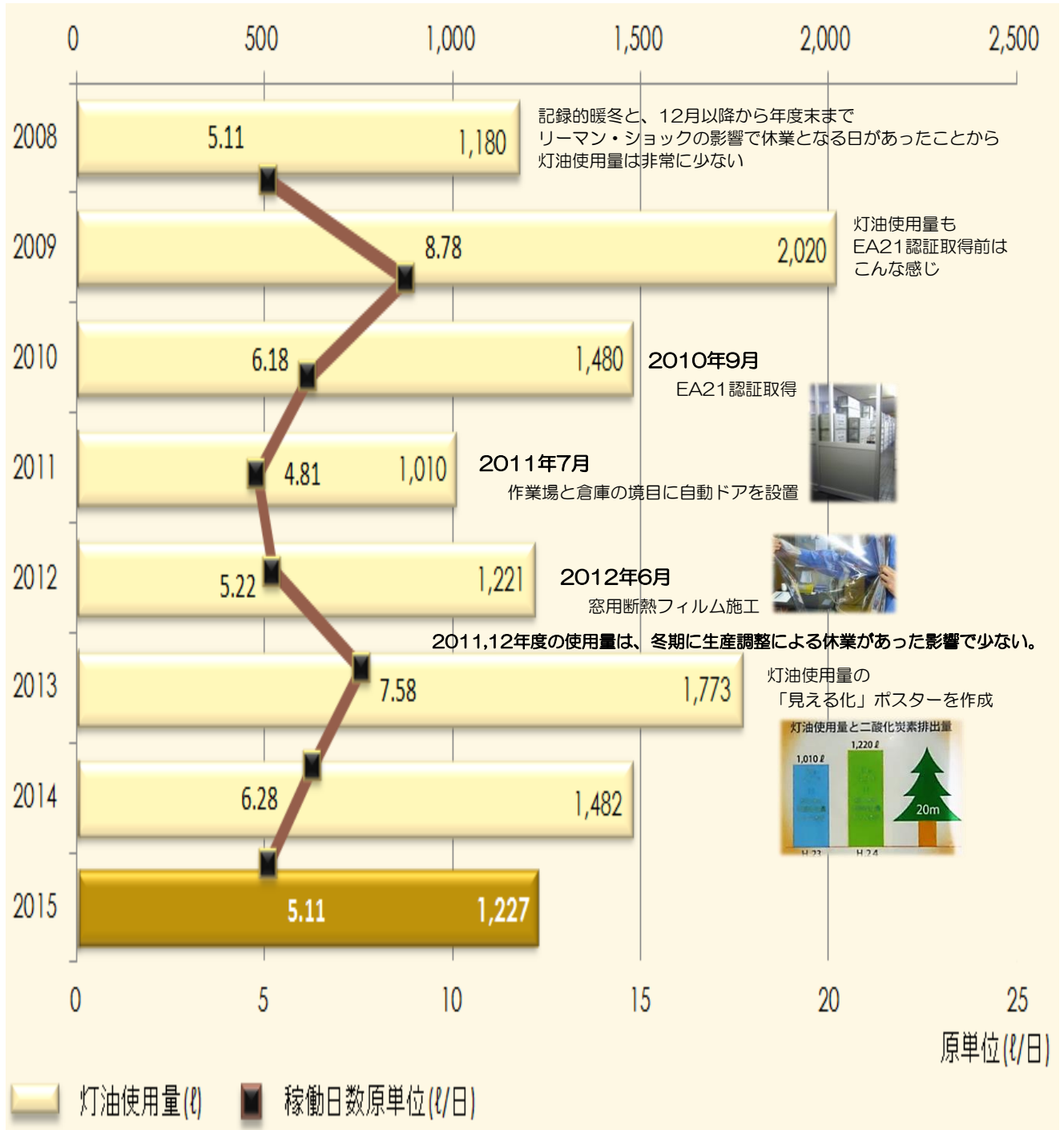
② 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

2015年度は、担当者の粘り強い啓発教育、全社的なエコドライブの浸透があったにもかかわらず、結果として前年度よりわずかながら使用量増加(34ℓ増加)という結果に終わってしまいました。これは、活動自体の問題というよりも、社用車の老朽化によるところが大きいのではないかと考えております。

2016年度には、おそらく社用車の入替が行われるものと思われます。その際に、エコドライブ担当者が過去に行った、エコカーに対する講義が車両決定者(役員)に響き、エコカーが選択されればと、大きな期待を寄せております。

(4) 灯油使用量 担当 : 三輪 千鶴

① グラフで見る当社灯油使用量削減活動のあゆみ



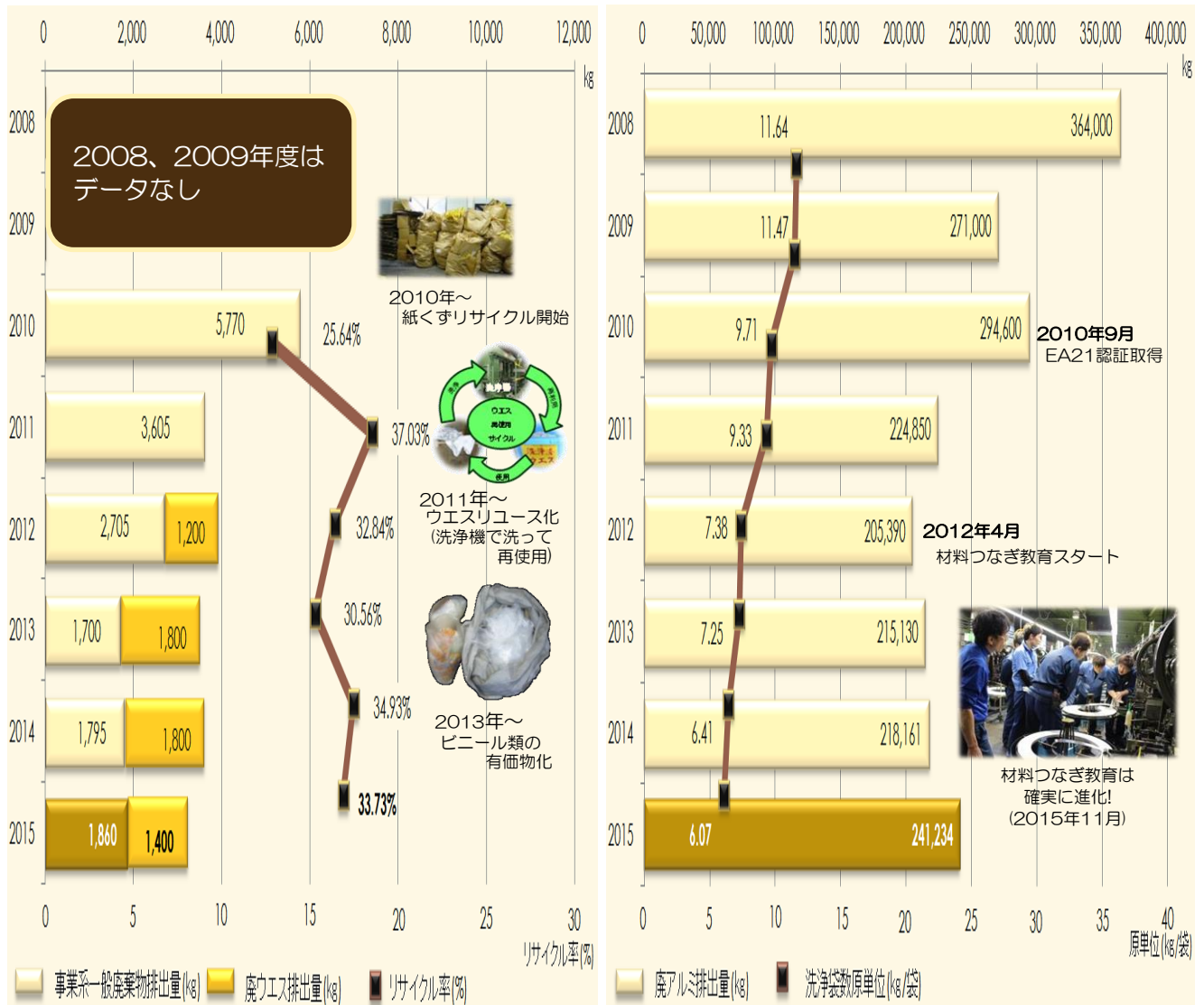
② 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

新たな担当者となり2年目。暖房機の使用者に地道に厚着をお願いするといったソフト路線が功を奏してか、使用量約17.2%減、同様に原単位も減少という上々の結果に終わりました。多くの社員が、環境活動の担当者に任命されるや、その使命感からか熱血路線に走る中で、あくまでソフトに、使用者目線で全体を引っ張るといった方法もありなると、私自身良い勉強になりました。

とは言え、2015年度の良い結果の裏には、「暖冬」という要因があったこともまた事実。2016年度も変わらないソフト路線を貫くようではありますが、3年目を迎える担当者にとって、その方法が本当に正解なのかを試す重要な年になるのではないかと思います。私自身、その様子を注意深く見守ると共に、ソフト過ぎる部分を補うための「助け舟」となる覚悟で、削減活動に臨むことと致します(さらに社員の怒りを買うことになるかも知れませんが……)。

(5) 廃棄物排出量 担当 : 加茂 隆弘(事業系一般廃棄物)
 セノ リト アンジェロ(産業廃棄物(廃ウエス))
 有山 浩一郎(紙くず(リサイクル))
 井出 学、加藤 直(廃アルミ(有価物))

① グラフで見る当社廃棄物排出量削減活動のあゆみ



事業系一般廃棄物、産廃、紙リサイクル活動のあゆみ

廃アルミ削減活動のあゆみ

② 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

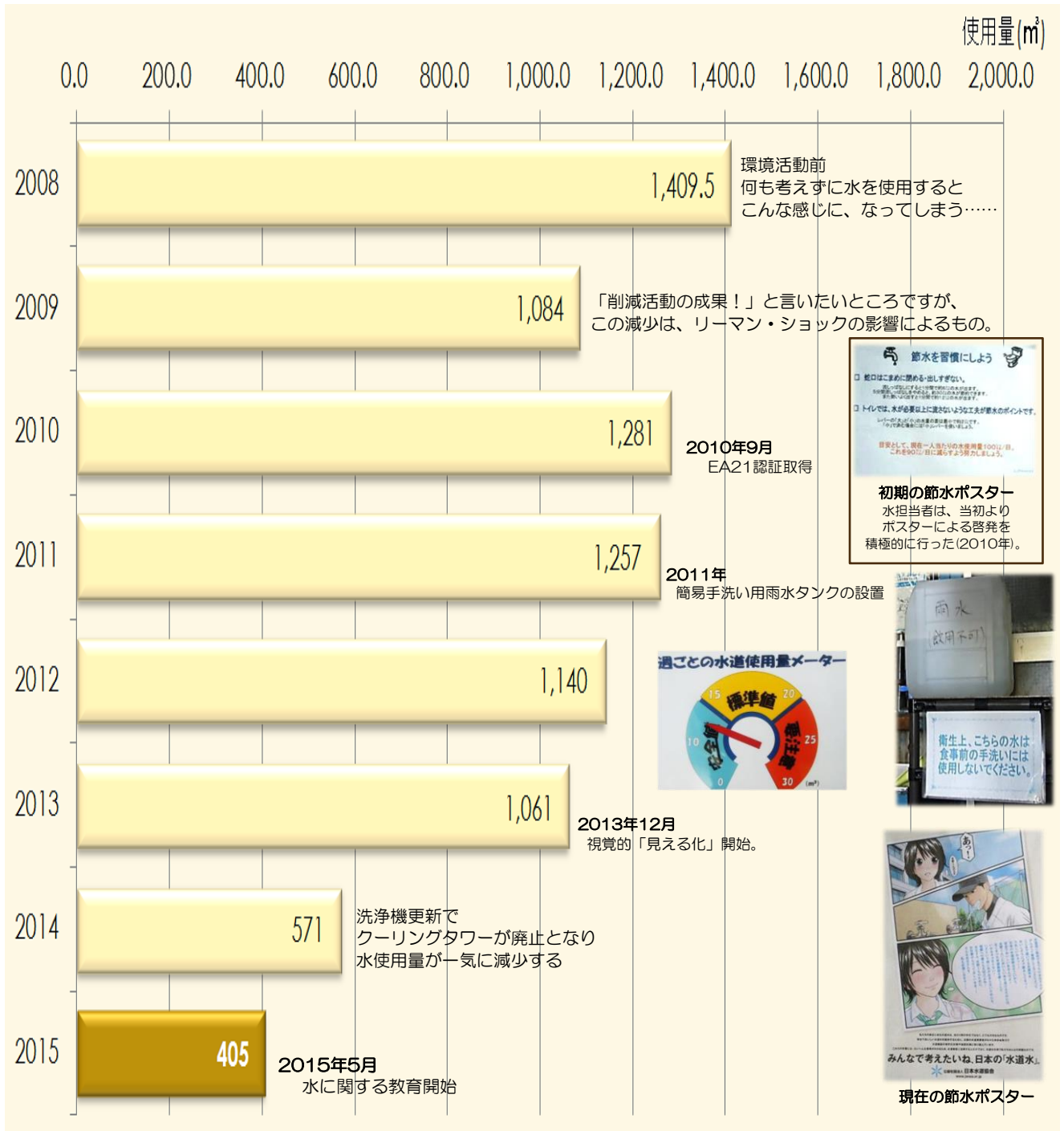
2015年度の廃棄物の動きを振り返ると、事業系一般廃棄物に関しては、5Sで積極的に断捨離が行われたことも影響してか、2年連続で排出量が増加し、年間目標も未達で終わってしまった反面、廃ウエスに関しては、活動を通じた担当者の成長と、それに伴う排出量の大幅減少が見られたりといったように、悲喜交々交錯する複雑な1年でした。

一方、廃アルミ(有価物)の方はというと、特に6、7月頃から、受注に力強さが見られるようになり、生産量が増加したことで、排出量が前年度と比較し大幅に増加致しました。しかし、不良品を無駄に作ってしまうと増加する傾向がある原単位の方の増加は見られなかったことから、材料つなぎ教育を柱とする削減施策は確実に機能しているものと思われます。

廃棄物、有価物のどちらも、新たなネタを見つけ、それにより大幅に改善させるといったことは、残念ながらだんだん難しくなっております。このような停滞ムードを打ち破るために必要なのは教育！これに尽きると思います。従って、2016年度においては、材料つなぎ教育については有効性を更に高めるための方法を探りながらそのまま継続。そして廃棄物全般については、新たに担当者を設け、教育プログラムの中に加えることで、廃棄物が抱える諸問題に関する知識と理解を深める取組を推進することと致します。

(6) 水使用量 担当 : 宮本 哲次

① グラフで見る当社水使用量削減活動のあゆみ



② 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

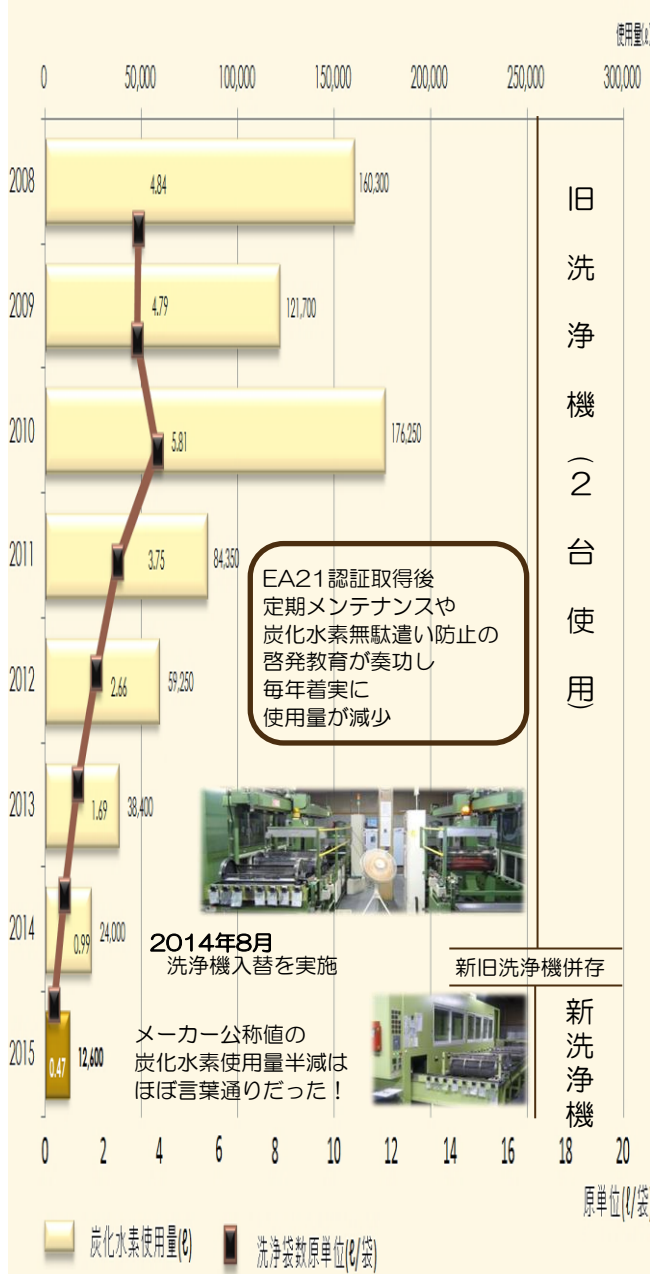
洗浄機更新により、冷却装置がクーリングタワーからチラーに変更となったことで、使用量の大幅削減が実現した水。そのため、2015年度は目標値再設定の年と位置付け、従来の節水施策をそのまま維持しつつ、現状把握に努めるといった活動に終始致しました。

2016年度の環境目標として「使用量ベースで2015年度比△1%」という目標値が設定されました。「目標値があまりにも小さくなり過ぎたので、プレッシャーを感じる(水担当者)」という意見も……。しかし、ポスターによる削減への呼びかけ、丁寧な「見える化」、水使用に関する教育、そして何より、担当者の環境活動に向き合う真摯な姿こそが、削減への大きな原動力となるものと確信致しております。

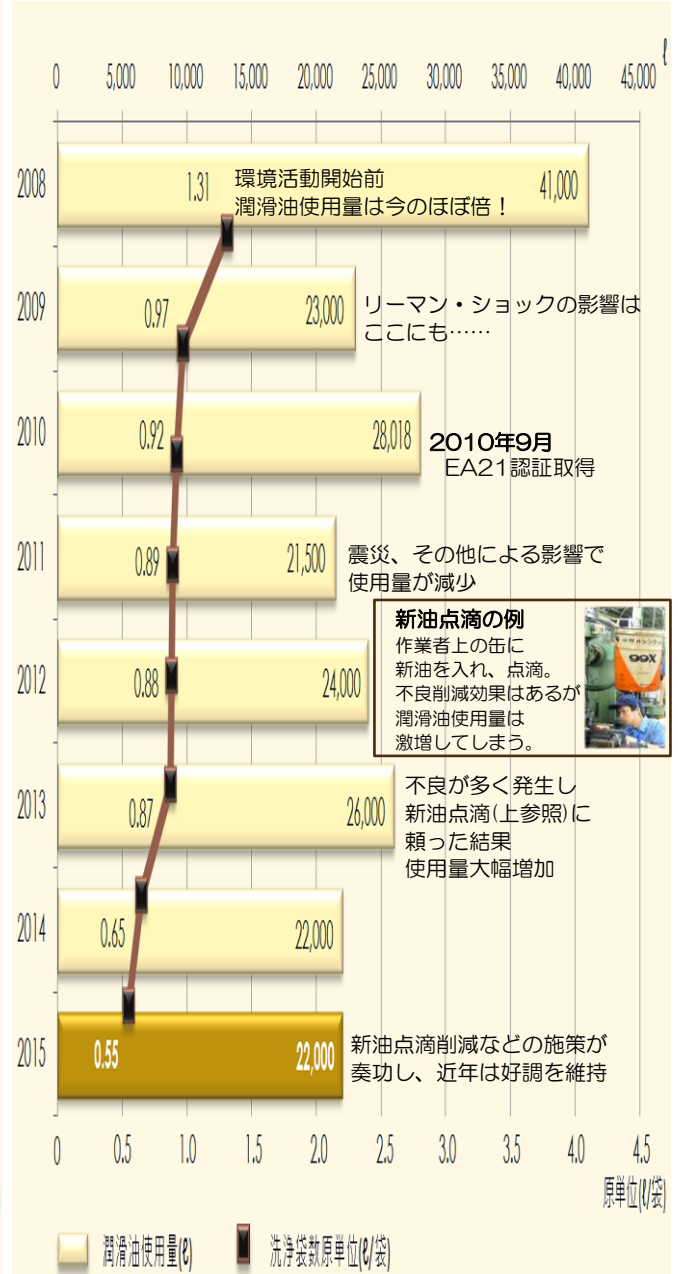
(7) 化学物質使用量 担当：齊藤 進(炭化水素)
来 淳一郎(潤滑油(ラタック))

① グラフで見る当社化学物質使用量削減活動のあゆみ

炭化水素使用量



潤滑油(ラタック)使用量



② 2015年度の総評と、2016年度 of 取組内容(環境管理責任者)

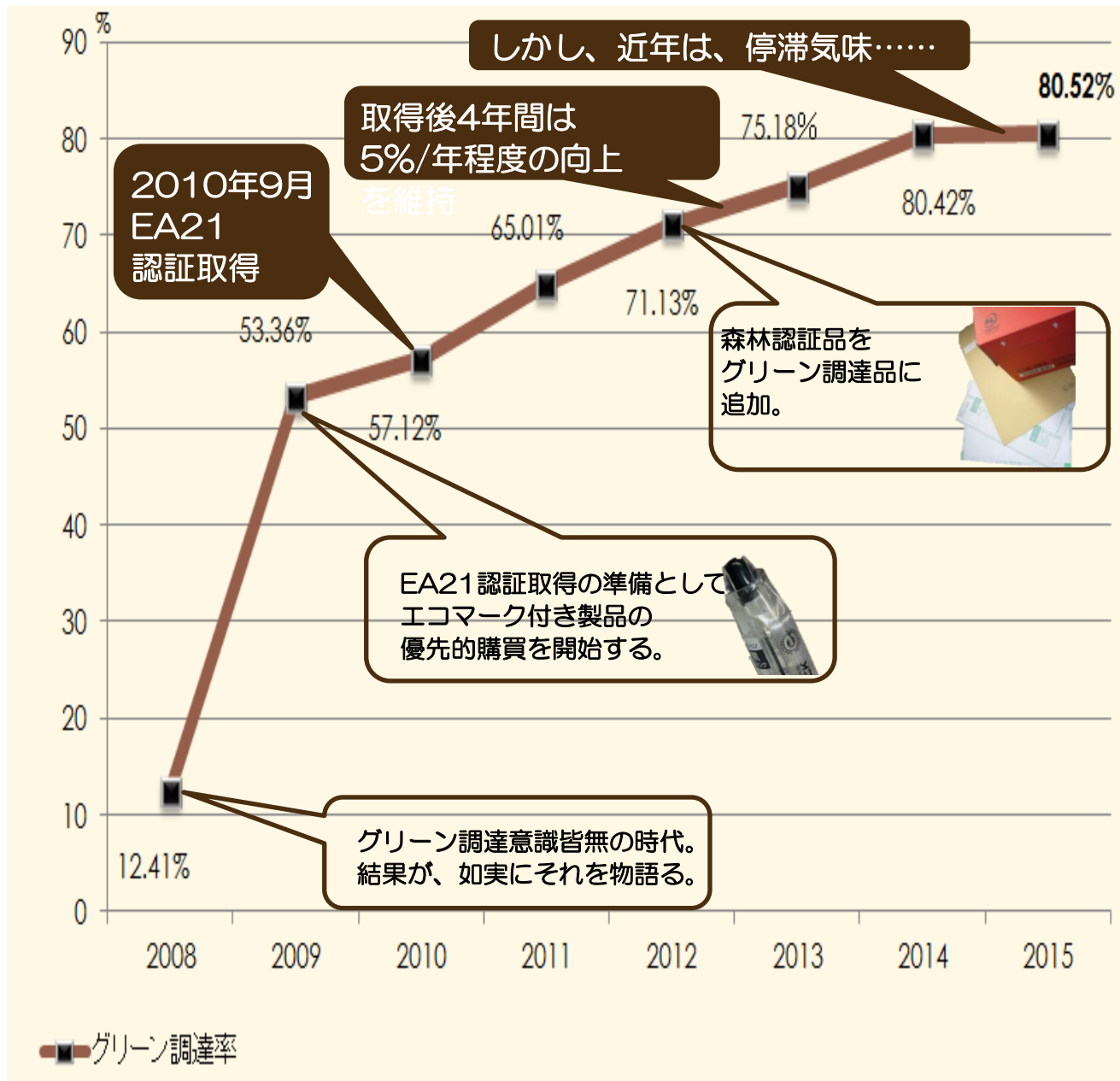
炭化水素については、2015年度が1年を通じて新洗浄機を使用する初年度となるため、現状把握に努めることと致しました。その結果、使用量はほぼメーカー公称値通り。機器更新による炭化水素使用量削減の恩恵を受けられることが明らかになり、ひとまず胸をなでおろした次第です。

潤滑油の方は、その適切な使用が製品の良否に直結ものゆえに、削減一辺倒には走れないという難しさを抱えながらも、2015年度も好調を維持。やはり、上の年表中にもあるように、新油点滴への依存度を大きく下げたことが、その結果に繋がっているものと考えられます。

化学物質に関しては、現状の施策に特に問題は見当たらないので、2016年度も基本線の変更は致しません。また、昨年度より実施している、化学物質の性状等に関する教育については、化学物質使用中の事故を防止するという観点から、2016年度更に注力すべき部分と位置付け、引き続き、取組の強化に努めてまいります。

(8) グリーン調達の推進 担当：福田 則子

① グラフで見る当社グリーン調達の推進活動のあゆみ



② 2015年度の総評と、2016年度の取組内容(環境管理責任者)

2015年度のグリーン調達率は、2014年度比0.1%増と、辛うじて7年連続前年度比向上は致しました。しかし、年間グリーン調達率81%以上という環境目標の達成については、残念ながら未達という苦い結果に終わってしまいました。プラス分の0.1%を活動の質の向上分と捉えれば、活動自体に問題があったとは考えにくく、事実、実際の購買活動においても、相当意識してグリーン調達が行われていた様子を確認しております。しかし、こうした努力にもかかわらず、0.1%の向上にとどまったということが意味するのは、今後は相当な改革がなされない限り、大幅な向上は正直望めないということに他なりません。

2016年度については、昨年度年初に掲げた中期目標の「2016年度はグリーン調達率82%以上」を見直し、2015年度目標の「グリーン調達率81%以上」をそのまま維持することと致します。これは、目標値だけが先行してしまうことで、未達感から活動へのモチベーションを失うという事態を危惧しての対応です。他社に目を向ければ、「グリーン調達率90%以上」を達成したという素晴らしい事例も多々見受けられますが、当社は、グリーン調達率の向上という活動に対しては、あくまで当社のペースで、楽しみながら、1%ずつ目標をクリアするというスタンスにて向き合っていくべきものと考えております。

(9) その他の環境活動

i) 地域貢献(環境ボランティアの実施) 担当：来 昌伸 以下有志7名

月に一度、八潮市防火協会主催の清掃ボランティアに参加し、市内の清掃活動を行っております。以下、活動日誌より

今回は、小雨が降る中のボランティア活動となりましたが、いつも以上にゴミが目立ちました。特に首都高下の道路周辺に大量の空き缶が捨てられていて、心が痛みました。少しでもゴミを減らすために、今後もボランティア活動に力を入れていきたいです。

(2015年3月 田辺 栄一)



非常に、地道な活動ではあるが…

今回目立ったのは、お菓子のパッケージ。お菓子だから子供の仕業と決めつけてしまうのは早計だろうが、大人がポイ捨てをすることで、それを見た子供にもその悪しき習慣が伝播していると考えられなくもない。こうした負の連鎖を断ち切るためには、我々大人が良識をもつことと、子どもに「ポイ捨て=悪」ということをしっかり理解させることが必要だと思う。そのためには各家庭における教育にも踏み込んで考える必要がありそうだ。

(2015年7月 石原 隆雅)

毎年この時期はアルミ缶やペットボトルが多く捨てられている。粗大ごみは、空き地の草が多く伸びているところに不法投棄されていることが多い。

(2015年8月 加藤 直)

比較的涼しい朝でした。今回は、新しくできたコンビニ周辺も回ってみました。やはり、飲み捨て、食べ捨てのゴミがありました。マナーを守ることはそれ程難しくないので、簡単にポイ捨てしてしまうのは残念です。ボランティアを通して、言葉ではなく活動でマナー向上を考えてゆきたいです。(2015年9月 宮本 哲次)

この活動を続けて5年以上になりますが、5年前に比べたら確実にゴミは減ってきています。もちろんまだまだゴミは落ちていますが、これからもあきらめず続けて、一人でも多くの人にポイ捨ての習慣をやめてもらえるように、また自発的にゴミを拾ってもらえる様努力します。

です。(2015年10月 来 尊重)

今回6人という少数での活動になりました。冬場になると人数が減る様です。燃えるごみ12袋、その他7袋と、人数の割には皆様頑張りました。継続して頑張りましょう。

(2015年12月 来 昌伸)



徐々に、その成果は表れている。

東京で初雪を観測した非常に寒い朝、7:00頃はまだまだ暗さも残る、そんな中での7名の活動でした。私自身タバコを吸わないせいか、タバコの吸い殻の多さほどでも気になり、特に、大通りの歩道には、大量のたばこの吸い殻が捨てられていました。各自の意識次第で、タバコの吸い殻は道路上から減らせると思います。

(2016年1月 来 博行)

ii) 地域貢献(ペットボトルキャップ収集) 担当：来 博行

2014年4月開始。当初、「参加することに意義があり、数は二の次」程度の認識で、数については全く期待だにしておりませんでした。しかし、いざ始めてみると、とても社員数37名の会社の回収量と思えないほど、ドンドン集まるわ、集まるわ……。それには、ただただビックリするばかり、でした。

その秘密は、ズバリ、多くの社員の社内外問わずの協力！各個人宅において協力してくれる社員が多数現れただけでなく、某社員に至っては、自身が地元で所属する消防団をも巻き込み、収集に協力してくれているとか。

こうした社員の協力があり、2年間トータルの回収個数は約8,500個。現在、寄付するタイミングを図っている次第です。



iii) 5Sの推進 担当 : 全社員

2014年1月に開始した、全社員、パートを巻き込んだ5S活動。同月に全社員の「武勇伝」を記すべく、当社入り口近くに設置したのが「劇的 ビフォーアフター in 来ハトメ 活動報告」。

この掲示板は5S活動2年目を迎えた2015年度も写真のような姿でなお健在！2年の時を経て多少疲れが目立つ状況ながら、全社員の活動を克明に刻み続けております。

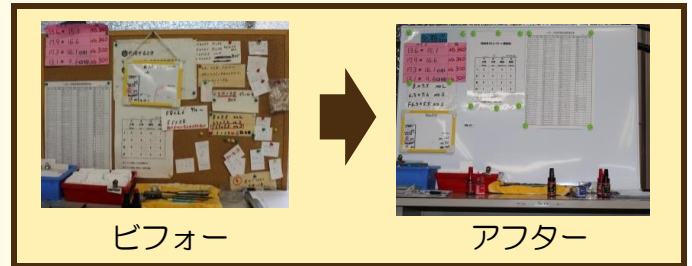
今回は、この活動記録の中から、環境管理責任者が素晴らしいと思った活動を2点ピックアップし、御紹介致します。



その1 掲示板をコルクボードからホワイトボードに変更(2016年9月 パートDグループ)

掲示物の内容を整理しただけでなく、掲示方法をホワイトボードに変更。

長く掲示する可能性の高いものはラミネート加工を施すなど、地味ながら細かい配慮を怠らなかったことも見逃せないポイント。



その2 思い切った「断捨離」で、棚を整理(2016年4月 技術)

あまり使わないものがたくさん入った棚の中を、思い切って整理することに。

しかし、あまりに思い切り過ぎたのか、終わってみれば、棚の中身は空っぽに……。実施者いわく、「使うものはより使いやすい場所に移動したため」とのこと。



来ハトメ環境トピックス2015

6 . 環境活動で、人が育った！ ～環境活動により自らの成長を手にした社員の成功事例集②～

2011年頃より高まりを見せ始めた当社社員の資格取得意欲は依然高く、2015年度も複数の社員がeco検定をはじめとする環境関連資格へ自主的に挑戦、見事合格を勝ち取った社員も誕生致しました(今年度実績：eco検定1名、公害防止管理者(大気1種)1名)。

今回は、環境関連資格に挑み続ける勇者達を代表し、2015年9月に見事eco検定合格の名誉を勝ち取った、宮本 哲次さん(製造部)の合格体験記を御紹介致します。

当初は環境問題とは世界レベルの問題で、自分とは遠いことと感じていましたが、エコアクション21の活動を通して、環境に対する意識が変わってきました。そんな折、毎月社内で行われているeco検定に関する情報提供を通して、環境問題についてもっと知りたいと思うようになったことがきっかけで、eco検定を受験しました。

普段、ニュースなどで環境問題について取り上げられるとき、断片的に情報を得ることはできますが、今回の検定を通じて、系統立てて環境問題について学び、理解を深めることができました。

教科書や問題集を取り寄せて勉強していく中で、環境への取組なしには経済活動を続けてゆけないこと、また中小企業レベルでも行えることがあることを知ることができたので、今後の自身の活動に生かしてゆきたいです。



宮本 哲次さん

iv) 環境情報等、必要な情報開示

① インターネットを通じた情報開示

当社ホームページにて、最新環境活動レポートをはじめ、過去の環境活動レポートを公開致しております(右写真、当社ホームページのトップページ)の右下「ニュース」欄に各年の環境活動レポートがございますので、ご覧になりたい年のPDFアイコンをクリック頂くことで、閲覧頂くことができるようになっております。

当社ホームページURLは以下の通りです。

<http://www.rai-hatome.co.jp>

また、当社環境活動レポートは、当社ホームページ以外にも、以下のサイトから閲覧可能になっておりますので、こちらも併せて御利用頂けましたら幸いです。

当社環境活動レポートを閲覧可能なサイト一覧



サイト名	URL	備考
環境報告書プラザ	https://www.ecosearch.jp/	2011年版から閲覧可能
CSR図書館.net	http://csr-toshokan.net	2015年版のみ閲覧可能
EA21中央事務局	http://www.ea21.jp	最新版のみ閲覧可能

② 各種セミナーにおける事例発表

事例発表。それは、選びに選ばれた特別な事業者のみができるもの。とっておりました。

しかし、こんなチャンスが、当社にも、回ってきたのです。

しかも、1年に6度も……。

当社がエコアクションと共に歩んだ6年間は、まさに、失敗や挫折のオンパレード。当然、カッコいい事例なんてあるはずもないので、ありのままを申し上げると、どこからか聞こえてくる、冷たい笑い声……。

こんな心地よい空間、そして発表の機会を与えて下さった各団体様には、心より感謝申し上げる次第です。今後も、全社一丸となり、事例発表の名誉に恥じぬような活動を続けて参る所存でございます。



当社の事例発表の1コマ
第10回エコアクション21全国交流研修大会
2015年10月16日(於 パシフィコ横浜)

③ 番外編(事例発表でウケた(失笑を買った)ネタ特集

情報開示について、きっちり1ページでまとめよう、と書いて書いたのですが、ここに変なスペースが余ってしまいました……。

ということで、この狭いスペースの中で、実際に事例発表の中でお話し致しました、当社が環境活動の中で経験してきた失敗の数々を、恥を忍んでお伝えしようかと……。

その1. 施策立案をお願いすると…(2010年)

当初より、環境活動計画の施策立案段階から担当者に権限を与えた当社。しかし、初年度は、施策立案をお願いしても、返ってきたのは白紙ばかり……。

その2. 法規制、なかなか定着せず(2011年)

2010年より定期的に法規制教育を始めたものの、それに基づき行動しても、逆に「それはおかしい!」と上司から怒られる始末。「何がおかしいんだ!!」というように、ケンカになってしまうことも、しばしばでした……。

その3. レポート作成が終わらない(2014年)

セミナーでは、自戒の意を込めて、この過去の事実をお話し致しました。しかし、ここに、また同じ過ちを犯している、自分があります……。



2015年10月16日(金)
来ハトメ工業株式会社
環境管理責任者 石原 隆雄
当社事例発表スライドの表紙
EA21中央事務局ホームページに
事例発表資料としてアップされております。

来ハトメ環境トピックス2015

7. 環境活動で、人が育った！ ～環境活動により自らの成長を手にした社員の成功事例集③～

当レポートにおいて、これまで環境活動を通じ大成長を遂げた2名の社員の成功体験を御紹介して参りました。

そして、3人目として、2015年度に環境活動を通じ、まさに「最下位からの大逆転」とも言うべき大成長を遂げた社員の成長の系譜を、満を持して紹介することと致します。

セノ リト アンジェロさん(2012年5月入社)の場合

入社～即廃ウエス担当者に任命～

2012年5月、プレスオペレーターとして当社に入社してきたセノ リト アンジェロ(以下、アンジェロ)さん。日本語でのコミュニケーション、慣れない仕事という大変な重圧を背負った上に、更に降りかかってきたのが、環境活動における廃ウエス担当者としての仕事でした。

環境活動＝面倒なものからのスタート

入社後いきなり廃ウエス担当者となったアンジェロさん。入社当初の環境活動に対するイメージは「面倒なもの」という何とも後ろ向きなものだったとか……。

その後ろ向きな姿勢が、そのまま結果として表れてしまうことに……。活動自体の未熟さも災いし、目標未達を繰り返し、2013年度には4度の、更にその翌年の2014年度には2度の是正処置の対象となってしまう悲惨な状況に陥り、廃ウエス削減活動は「是正処置の常連」という不名誉な烙印を押されるものへと成り下がってしまっておりました。

環境活動を彼の成長に利用しよう！

環境管理責任者にとって、未達や是正処置の発生は、言うなれば担当者とのコミュニケーションを図るための絶好のチャンス。もちろん、アンジェロさんが陥っていた状況においても例外ではなく、これを徹底的に利用し、彼を一つ上のステージへと導こうと、策を巡らせました。

「あなた一人が悪いからこういう結果が出ているのではない。うまくみんなを巻き込む方法を時間をかけて一緒に考えてみよう。」

未達や是正処置が発生するたびに、こうした言葉を投げかけ続けました。

そしてついに、彼の口から、転機ともいえるべき言葉を引き出すことに、成功したのです。

「ホワイトボードを買ってほしい」

彼が自ら要望してきたのは、7度目の是正処置が発生した、2015年6月のことでした。

彼が「廃ウエスの「見える化」ボードを作りたい」という意思を示しているということは、井出副工場長づてに聞いて知ってはおりました。その完成を楽しみに待つこと半月。出来上がったそれに初めて対峙した私を容赦なく包み込んだ感動を、私は今でもはっきりと覚えております。

多くの先輩の助けを借りて作ったというそれは、まず右側に宮本さん渾身の作「見える化」メーター、中央には目標数値と実績値、そして左側には山崎主任立案の、現在のドラム缶の中身の量を視覚的に示す「廃ウエスメーター」を配するというもの。それはまさに、「何とかしてアンジェロを助けてほしい」という先輩達の思いの詰まった、見ているだけで胸が暖くなるような「作品」でした。

それ以後、2015年度の是正処置の発生回数はゼロ！自らの行動が、周囲にも響き、多くの社員を味方につけ、見事に廃ウエス削減という結果に繋げることができた2015年度。まさに彼にとって、社会人としての大きなステップアップをするために力強い助走を駆けだした、記念すべき年となり得たのではないかと、外野から勝手に思いを巡らせている次第です。



セノ リト アンジェロさん



アンジェロさんを支える頼もしい先輩社員達
前列右から井出副工場長、アンジェロさん、来 尊重さん
後列右から山崎主任、宮本さん

年月	できごと
2012.5	入社、廃ウエス担当者に就任
2013	廃ウエス是正処置は年間4度を数える
2014	廃ウエス是正処置は年間2度に(若干の減少)
2015.6	「ホワイトボードを買ってほしい」と自ら請願
2015.7	廃ウエス排出量「見える化」を実施。
2015.7～	以降、是正処置は1件も発生していない

アンジェロさん成長の系譜

2015年度。まさに彼にとって、社会人としての大きなステップアップをするために力強い助走を駆けだした、記念すべき年となり得たのではないかと、外野から勝手に思いを巡らせている次第です。

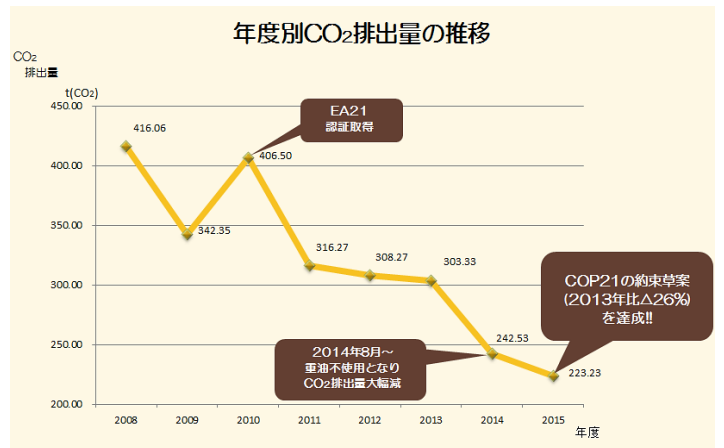
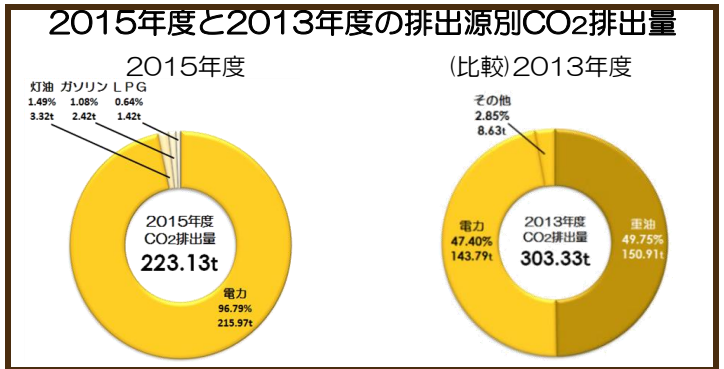
4) CO₂排出量で見る2015年度環境活動の成果と今後の課題

約束草案を早々に達成!!

2015年12月のCOP21に先立ち、日本が提出した約束草案にて「温室効果ガス排出量を2030年までに2013年比26%削減」とありますので、それに準じ、2013年の当社実績と比較致します。

当社は、2014年に「洗浄機の更新とそれに伴う重油ボイラーから電気式ヒーター(電力)への熱源変更」という大変革を実行致しました。それは、右上のグラフの通り、特にCO₂排出量に大きな変化をもたらしました。

その結果CO₂排出量は、2013年度と比較して量にして約80t、率にして約26.4%の大幅削減に成功。何と、COP21の日本の約束草案を15年前倒しにての達成を実現致しました。また、右下の2008年度からのCO₂排出量の推移のグラフを見ると、2015年度は、2010年度(EA21認証取得初年度)比において、率にして約45%の大幅削減がなされ、また、毎年CO₂排出量の削減がなされていることも確認できます。これこそ、「当社が真剣に環境活動に向き合ってきた証拠」とも言えるでしょう。



今後の課題 ~2050年に2013年比80%削減を目指して~

COP21では、「産業革命前からの気温上昇を2℃以内に抑える」ことを全体の目標として謳っております。しかし、約束草案にて掲げた目標が全世界で達成されたとしても、地球の気温は3℃上昇してしまうのではないかと警告されております。従って、いくら前倒しで約束草案の達成を果たしたとは言え、そこで満足してしまうことは決して許されるものではありません。

当社は、重油との決別を果たしたことにより、CO₂排出量の大幅削減を実現致しました。しかし、その分電力の使用量が増加し、足元ではCO₂排出量のほとんどを電力が占めるという、言わば「ほぼオール電化」状態になっております。従って、この電力の部分に、いかにメスを入れていけるかが、次なる目標の「2050年までに80%減」達成のカギを握るということになりそうです。

太陽光発電、蓄電池、家庭用風力、地中熱エアコン、グリーン電力……。私の拙い知識からでも、電力分野の課題を解決してくれそうなものが、いくつかは出てまいります。しかし、これらの導入でどれくらいのメリットがあって、それによってどれほどのCO₂に貢献し、導入費用は何年で回収でき…ということになると、残念ながら即答できないのが現状です。こうした知識不足の解消、すなわち設備に関する深い知識の習得こそが、この課題解決の手始めになるのではないかと、私は考えております。

当社では、EA21認証取得以来、水銀灯をLEDに更新(2011年)、重油ボイラー廃止(2014年)、LED照明(2015年)というように、立て続けに様々な「エコ替え」を行ってまいりました。これだけの「エコ替え」がスムーズにできたのは、EA21認証取得当初より、環境教育を充実させ、環境に関する正しい知識を経営者層はじめ全体に浸透させることができたからに他なりません。もちろん今後も、「今導入できないから情報は知らない」というスタンスではなく「今導入できないからこそ情報だけは豊富に集め、提供する」というスタンスで臨んで参りたいと思います。情報収集をするだけなら、もちろんタダでできるのですから。

そして、然るべき時期に、少しずつ、集めた情報を形にしていけることができれば、2050年には2013年実績の80%削減が叶い、ひいては持続可能な発展を遂げる会社を作り上げられるのではないかと、勝手に想像している次第です。従って、足元で取り組むべきは、浅く広い環境知識を全社員に満遍なく浸透させることと、当社にイノベーションをもたらしてくれそうな機器類の研究を進めていくこと、これに尽きると思います。自分自身の知識を深めることはもちろん、こうした地味な環境活動に全社員が全力で取り組むことができる雰囲気をつくり上げようか。まずは真剣に考えながら取り組む数年間にしたいと思います。(環境管理責任者)

10.代表者による見直し結果

1) 代表者レビュー

EA21の認証を頂いて、早いもので、6年が過ぎた。

自分が思ったよりも相当に順調に推移していると思う。

大企業ではないので、高学歴の社員を集めることはできず、女性(全てパートタイマー)も日本人と外国人が半分ずつという陣構えの中で、全員が士気を失わず、自分の持ち場を堅持し続けることは、難しいと思っていた。

この状況下で途中で頓挫するどころか、個々の環境目標を毎年、ほとんどクリアしていることは、驚きですらある。

今期も一部を除いて、目標を達成していることは、称賛に値することだ。

これには環境活動を統括し、役割分担を行い、役割に応じた的確なアドバイスを行うことのできる能力と行動力を持った環境管理責任者に負うところが、格段に大きいと思う。

この環境管理責任者に、時には褒められ、時にはくさされながらも、自分の役割をこなしていける能力を、全ての社員、パートタイマーが持っていることが分かったことも、環境活動を行う中での大きな収穫と言える。

人というのは、学歴、外観、個人事情だけで判断するのではなく、その人に合った役割(仕事内容も含めて)を与えてみて判断するべきだと、つくづく思う。

環境活動に引っ張られて、会社の商売の方も、今期こそ浮上できれば良いと、期待している。

2) 2016年度以降の目標

2016年度以降は、下記目標達成に向け、更に良い結果が出る様、努力願いたい。

項目	基準年度	※削減目標		
		2016年度	2017年度	2018年度
電力	2015年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
LPG	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
ガソリン	2010年度	総量△6%	総量△7%	総量△8%
灯油	2010年度	原単位△5%	原単位△6%	原単位△7%
事業系一般廃棄物	2014年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
産廃(廃ウエス)	2013年度	総量△3%	総量△4%	総量△5%
紙くず(リサイクル率)	2010年度	6%向上	7%向上	8%向上
廃アルミ	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
水	2015年度	総量△1%	総量△2%	総量△3%
炭化水素	2015年度	原単位△1%	原単位△2%	原単位△3%
潤滑油(ラタック)	2010年度	原単位△6%	原単位△7%	原単位△8%
グリーン調達率	—	81%以上	82%以上	83%以上

※ 削減目標に「原単位」とあるものについては、下記の原単位を目標値とする。

電力、廃アルミ、潤滑油 : 洗浄袋(調整)原単位(調整方法については、当レポート15頁参照)

炭化水素 : 洗浄袋(調整不要)(使用量÷洗浄袋数(袋))

LPG、灯油 : 稼働日原単位(使用量÷稼働日(日))

来ハトメ工業株式会社
取締役会長(EA21代表者) 来 満